

資格ブートキャンプ

ITパスポート ストラテジ系 350問

問題編 + 巻末 解答・解説

問題編 + 巻末 解答・解説

このPDFは、添付されたITパスポート問題データを基に作成した学習用PDFです。問題はすべて4択形式です。

科目（分野）	問題数
ストラテジ系	350問

使い方

1. まず問題編を解き、選択肢A～Dの中から解答を選んでください。
2. 解き終わったら、巻末の解答・解説編で正誤と考え方を確認してください。
3. 間違えた問題は、タグ・知識項目単位で復習してください。

公式過去問の転載ではなく、添付データに含まれるオリジナル練習問題をPDF化しています。

収録範囲

タグ	問題数
企業活動	50問
法務	55問
経営戦略マネジメント	55問
技術戦略マネジメント	30問
ビジネスインダストリ	55問
システム戦略	55問
システム企画	50問

問題編

各問題について、A～Dから最も適切なものを1つ選んでください。

0001 ストラテジ系 / 企業活動 / 損益分岐点

Q1. 販売価格が1個2,000円、変動費が1個1,200円、固定費が月400,000円である。損益分岐点販売数量として最も適切なものはどれか。

- A. 200個
- B. 300個
- C. 500個
- D. 800個

0002 ストラテジ系 / 企業活動 / 限界利益

Q2. 販売価格10,000円、変動費6,000円の商品を1個販売したときの限界利益として最も適切なものはどれか。

- A. 4,000円
- B. 6,000円
- C. 10,000円
- D. 16,000円

0003 ストラテジ系 / 企業活動 / KPI/KGI

Q3. ECサイトの最終目標を年間売上1億円とした。この最終目標に当たる指標として最も適切なものはどれか。

- A. KGI
- B. KPI
- C. SLA
- D. TCO

0004 ストラテジ系 / 企業活動 / PDCA

Q4. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方

- A. 内部統制
- B. コーポレートガバナンス
- C. PDCA
- D. BSC

0005 ストラテジ系 / 企業活動 / KPI

Q5. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標

- A. SWOT分析
- B. PDCA
- C. KPI
- D. BSC

0006 ストラテジ系 / 企業活動 / KGI

Q6. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

最終的な経営目標の達成度を表す指標

- A. SWOT分析
- B. KGI
- C. 3C分析
- D. コーポレートガバナンス

0007 ストラテジ系 / 企業活動 / BSC

Q7. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

財務、顧客、業務プロセス、学習と成長など複数の視点で業績を評価する手法

- A. PPM
- B. SDGs
- C. BSC
- D. SWOT分析

0008 ストラテジ系 / 企業活動 / CSR

Q8. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

企業が社会的責任を果たし、環境・人権・地域社会などに配慮して活動する考え方

- A. CSR
- B. SWOT分析
- C. PPM
- D. 固定費

0009 ストラテジ系 / 企業活動 / SDGs

Q9. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

持続可能な開発に向けた国際的な17の目標

- A. KGI
- B. SDGs
- C. SWOT分析
- D. CSR

0010 ストラテジ系 / 企業活動 / コーポレートガバナンス

Q10. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

企業経営を監視・統制し、株主など利害関係者の利益を守る仕組み

- A. 固定費
- B. コーポレートガバナンス
- C. 損益分岐点
- D. SWOT分析

0011 ストラテジ系 / 企業活動 / 内部統制

Q11. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

業務の有効性、財務報告の信頼性、法令遵守などを確保するための社内仕組み

- A. 損益分岐点
- B. 内部統制
- C. BSC
- D. 固定費

0012 ストラテジ系 / 企業活動 / ステークホルダ

Q12. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

企業活動に利害関係をもつ個人や組織

- A. PPM
- B. ステークホルダ
- C. SDGs
- D. KGI

0013 ストラテジ系 / 企業活動 / PPM

Q13. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

市場成長率と相対的市場シェアで事業を分類する分析手法

- A. PPM
- B. CSR
- C. KPI
- D. 内部統制

0014 ストラテジ系 / 企業活動 / SWOT分析

Q14. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

強み・弱み・機会・脅威を整理して戦略を検討する手法

- A. BSC
- B. 固定費
- C. ステークホルダ
- D. SWOT分析

0015 ストラテジ系 / 企業活動 / 3C分析

Q15. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

顧客、競合、自社の三つの視点から市場を分析する手法

- A. PDCA
- B. 3C分析
- C. コーポレートガバナンス
- D. ステークホルダ

0016 ストラテジ系 / 企業活動 / 損益分岐点

Q16. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

売上高と費用が等しくなり利益がゼロになる点

- A. 固定費
- B. 3C分析
- C. 損益分岐点
- D. CSR

0017 ストラテジ系 / 企業活動 / 固定費

Q17. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

売上や生産量に関係なく一定額発生する費用

- A. 損益分岐点
- B. BSC
- C. 固定費
- D. コーポレートガバナンス

0018 ストラテジ系 / 企業活動 / 変動費

Q18. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

売上や生産量に比例して増減する費用

- A. PDCA
- B. 固定費
- C. SDGs
- D. 変動費

0019 ストラテジ系 / 企業活動 / PDCA

Q19. 「PDCA」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 企業経営を監視・統制し、株主など利害関係者の利益を守る仕組み
- B. 最終的な経営目標の達成度を表す指標
- C. Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方
- D. 売上や生産量に比例して増減する費用

0020 ストラテジ系 / 企業活動 / KPI

Q20. 「KPI」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 強み・弱み・機会・脅威を整理して戦略を検討する手法
- B. 売上や生産量に比例して増減する費用
- C. Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方
- D. 目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標

0021 ストラテジ系 / 企業活動 / KGI

Q21. 「KGI」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方
- B. 最終的な経営目標の達成度を表す指標
- C. 顧客、競合、自社の三つの視点から市場を分析する手法
- D. 企業活動に利害関係をもつ個人や組織

0022 ストラテジ系 / 企業活動 / BSC

Q22. 「BSC」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 売上や生産量に関係なく一定額発生する費用
- B. 目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標
- C. 企業が社会的責任を果たし、環境・人権・地域社会などに配慮して活動する考え方
- D. 財務、顧客、業務プロセス、学習と成長など複数の視点で業績を評価する手法

0023 ストラテジ系 / 企業活動 / CSR

Q23. 「CSR」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 企業が社会的責任を果たし、環境・人権・地域社会などに配慮して活動する考え方
- B. Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方
- C. 企業経営を監視・統制し、株主など利害関係者の利益を守る仕組み
- D. 最終的な経営目標の達成度を表す指標

0024 ストラテジ系 / 企業活動 / SDGs

Q24. 「SDGs」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 最終的な経営目標の達成度を表す指標
- B. 持続可能な開発に向けた国際的な17の目標
- C. 売上高と費用が等しくなり利益がゼロになる点
- D. 顧客、競合、自社の三つの視点から市場を分析する手法

0025 ストラテジ系 / 企業活動 / コーポレートガバナンス

Q25. 「コーポレートガバナンス」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 持続可能な開発に向けた国際的な17の目標
- B. 企業経営を監視・統制し、株主など利害関係者の利益を守る仕組み
- C. 売上や生産量に比例して増減する費用
- D. 財務、顧客、業務プロセス、学習と成長など複数の視点で業績を評価する手法

0026 ストラテジ系 / 企業活動 / 内部統制

Q26. 「内部統制」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 業務の有効性、財務報告の信頼性、法令遵守などを確保するための社内仕組み
- B. 顧客、競合、自社の三つの視点から市場を分析する手法
- C. 最終的な経営目標の達成度を表す指標
- D. 目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標

0027 ストラテジ系 / 企業活動 / ステークホルダ

Q27. 「ステークホルダ」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方
- B. 企業活動に利害関係をもつ個人や組織
- C. 売上や生産量に関係なく一定額発生する費用
- D. 持続可能な開発に向けた国際的な17の目標

0028 ストラテジ系 / 企業活動 / PPM

Q28. 「PPM」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 市場成長率と相対的市場シェアで事業を分類する分析手法
- B. 財務、顧客、業務プロセス、学習と成長など複数の視点で業績を評価する手法
- C. 売上高と費用が等しくなり利益がゼロになる点
- D. 持続可能な開発に向けた国際的な17の目標

0029 ストラテジ系 / 企業活動 / SWOT分析

Q29. 「SWOT分析」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 業務の有効性、財務報告の信頼性、法令遵守などを確保するための社内仕組み
- B. 持続可能な開発に向けた国際的な17の目標
- C. 強み・弱み・機会・脅威を整理して戦略を検討する手法
- D. Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方

0030 ストラテジ系 / 企業活動 / 3C分析

Q30. 「3C分析」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 売上高と費用が等しくなり利益がゼロになる点
- B. 顧客、競合、自社の三つの視点から市場を分析する手法
- C. 財務、顧客、業務プロセス、学習と成長など複数の視点で業績を評価する手法
- D. 最終的な経営目標の達成度を表す指標

0031 ストラテジ系 / 企業活動 / 損益分岐点

Q31. 「損益分岐点」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 市場成長率と相対的市場シェアで事業を分類する分析手法
- B. 強み・弱み・機会・脅威を整理して戦略を検討する手法
- C. 持続可能な開発に向けた国際的な17の目標
- D. 売上高と費用が等しくなり利益がゼロになる点

0032 ストラテジ系 / 企業活動 / 固定費

Q32. 「固定費」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 強み・弱み・機会・脅威を整理して戦略を検討する手法
- B. 売上や生産量に関係なく一定額発生する費用
- C. 市場成長率と相対的市場シェアで事業を分類する分析手法
- D. 企業が社会的責任を果たし、環境・人権・地域社会などに配慮して活動する考え方

0033 ストラテジ系 / 企業活動 / 変動費

Q33. 「変動費」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標
- B. 企業が社会的責任を果たし、環境・人権・地域社会などに配慮して活動する考え方
- C. 売上や生産量に比例して増減する費用
- D. Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方

0034 ストラテジ系 / 企業活動 / PDCA

Q34. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

改善計画を立て、実施後に結果を確認し、次の改善に反映したい

- A. CSR
- B. KPI
- C. PDCA
- D. 内部統制

0035 ストラテジ系 / 企業活動 / KPI

Q35. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

問い合わせ件数や成約率など、途中経過を数値で管理したい

- A. PPM
- B. KPI
- C. 3C分析
- D. SDGs

0036 ストラテジ系 / 企業活動 / KGI

Q36. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

年度末の売上高や利益額など、最終成果を測定したい

- A. KGI
- B. PPM
- C. 固定費
- D. コーポレートガバナンス

0037 ストラテジ系 / 企業活動 / BSC

Q37. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

売上だけでなく顧客満足や人材育成も含めて戦略を管理したい

- A. コーポレートガバナンス
- B. PDCA
- C. KGI
- D. BSC

0038 ストラテジ系 / 企業活動 / CSR

Q38. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

利益だけでなく地域貢献や環境配慮を重視したい

- A. SWOT分析
- B. CSR
- C. 変動費
- D. PDCA

0039 ストラテジ系 / 企業活動 / SDGs

Q39. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

事業活動を環境・貧困・教育など持続可能性の観点で整理したい

- A. KPI
- B. 内部統制
- C. SDGs
- D. PPM

0040 ストラテジ系 / 企業活動 / コーポレートガバナンス

Q40. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

経営者の独断を防ぎ、透明性のある意思決定を行いたい

- A. CSR
- B. コーポレートガバナンス
- C. PPM
- D. ステークホルダ

0041 ストラテジ系 / 企業活動 / 内部統制

Q41. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

不正や誤りを防ぐため、承認手続や職務分掌を整備したい

- A. 固定費
- B. CSR
- C. 内部統制
- D. SWOT分析

0042 ストラテジ系 / 企業活動 / ステークホルダ

Q42. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

顧客、株主、従業員、取引先、地域社会をまとめて表したい

- A. 固定費
- B. ステークホルダ
- C. コーポレートガバナンス
- D. 内部統制

0043 ストラテジ系 / 企業活動 / PPM

Q43. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

複数事業を花形、金のなる木などに分類して投資配分を考えたい

- A. KGI
- B. BSC
- C. PPM
- D. 3C分析

0044 ストラテジ系 / 企業活動 / SWOT分析

Q44. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

自社の内部環境と外部環境を4区分で整理したい

- A. KGI
- B. CSR
- C. SDGs
- D. SWOT分析

0045 ストラテジ系 / 企業活動 / 3C分析

Q45. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

市場参入前に顧客ニーズ、競合状況、自社能力を整理したい

- A. PDCA
- B. PPM
- C. 3C分析
- D. KGI

0046 ストラテジ系 / 企業活動 / 損益分岐点

Q46. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

何個売れば赤字でなくなるかを計算したい

- A. CSR
- B. KPI
- C. SDGs
- D. 損益分岐点

0047 ストラテジ系 / 企業活動 / 固定費

Q47. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

家賃や正社員給与のように販売数が変わっても大きく変わらない費用を分類したい

- A. 変動費
- B. SWOT分析
- C. コーポレートガバナンス
- D. 固定費

0048 ストラテジ系 / 企業活動 / 変動費

Q48. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

材料費や仕入原価のように販売量に応じて増える費用を分類したい

- A. BSC
- B. CSR
- C. ステークホルダ
- D. 変動費

0049 ストラテジ系 / 企業活動 / PDCA

Q49. 「PDCA」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. PDCAとは、Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方
- B. BSCとは、Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方
- C. ステークホルダとは、Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方
- D. CSRとは、Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方

0050 ストラテジ系 / 企業活動 / KPI

Q50. 「KPI」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 固定費とは、目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標
- B. KPIとは、目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標
- C. PPMとは、目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標
- D. SWOT分析とは、目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標

0051 ストラテジ系 / 法務 / 著作権

Q51. 社内研修資料に他社Webサイトの文章を出典表示だけで全文転載した。原則として問題になり得る権利として最も適切なものはどれか。

- A. 商標権
- B. 著作権
- C. 特許権
- D. 所有権

0052 ストラテジ系 / 法務 / 個人情報保護

Q52. 顧客の氏名、住所、メールアドレスを含む一覧表を扱うとき、最も重視すべき法令分野はどれか。

- A. 個人情報保護
- B. 商標登録
- C. 製造物責任
- D. 輸出管理

0053 ストラテジ系 / 法務 / 個人情報保護法

Q53. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律

- A. 中小受託取引適正化法
- B. 特許権
- C. 個人情報保護法
- D. 商標権

0054 ストラテジ系 / 法務 / 著作権法

Q54. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

著作物を創作した者の権利を保護する法律

- A. 個人情報保護法
- B. コンプライアンス
- C. 不正競争防止法
- D. 著作権法

0055 ストラテジ系 / 法務 / 特許権

Q55. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権

- A. 特許権
- B. コンプライアンス
- C. 請負契約
- D. ライセンス契約

0056 ストラテジ系 / 法務 / 商標権

Q56. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利

- A. 電子署名
- B. 個人情報保護法
- C. 中小受託取引適正化法
- D. 商標権

0057 ストラテジ系 / 法務 / 不正競争防止法

Q57. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律

- A. 秘密保持契約
- B. 特許権
- C. 商標権
- D. 不正競争防止法

0058 ストラテジ系 / 法務 / 営業秘密

Q58. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報

- A. 電子署名
- B. 特許権
- C. 営業秘密
- D. OSS

0059 ストラテジ系 / 法務 / ライセンス契約

Q59. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約

- A. 著作権法
- B. 準委任契約
- C. コンプライアンス
- D. ライセンス契約

0060 ストラテジ系 / 法務 / OSS

Q60. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア

- A. 著作権法
- B. 中小受託取引適正化法
- C. OSS
- D. ライセンス契約

0061 ストラテジ系 / 法務 / 請負契約

Q61. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

仕事の完成を目的とし、完成物に対して報酬を支払う契約

- A. 請負契約
- B. 営業秘密
- C. コンプライアンス
- D. 準委任契約

0062 ストラテジ系 / 法務 / 準委任契約

Q62. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

一定の業務遂行を目的とし、完成物の完成までは約束しない契約

- A. 電子署名
- B. 準委任契約
- C. OSS
- D. 特許権

0063 ストラテジ系 / 法務 / 中小受託取引適正化法

Q63. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

委託事業者と中小受託事業者の取引を適正化し、受託側の利益保護を図る法律

- A. 個人情報保護法
- B. 営業秘密
- C. 中小受託取引適正化法
- D. 電子署名

0064 ストラテジ系 / 法務 / PL法

Q64. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

製造物の欠陥によって生命・身体・財産に損害が生じた場合の製造業者等の責任を定める法律

- A. PL法
- B. 請負契約
- C. 準委任契約
- D. 特許権

0065 ストラテジ系 / 法務 / 電子署名

Q65. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み

- A. 電子署名
- B. 中小受託取引適正化法
- C. 個人情報保護法
- D. 秘密保持契約

0066 ストラテジ系 / 法務 / コンプライアンス

Q66. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

法令、社内規程、社会規範を守って活動すること

- A. 特許権
- B. コンプライアンス
- C. 電子署名
- D. 個人情報保護法

0067 ストラテジ系 / 法務 / 秘密保持契約

Q67. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

業務上知った秘密情報を第三者に漏らさないことを定める契約

- A. 特許権
- B. 中小受託取引適正化法
- C. 秘密保持契約
- D. 商標権

0068 ストラテジ系 / 法務 / 個人情報保護法

Q68. 「個人情報保護法」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み
- B. 生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律
- C. 営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律
- D. 製造物の欠陥によって生命・身体・財産に損害が生じた場合の製造業者等の責任を定める法律

0069 ストラテジ系 / 法務 / 著作権法

Q69. 「著作権法」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み
- B. 著作物を創作した者の権利を保護する法律
- C. 業務上知った秘密情報を第三者に漏らさないことを定める契約
- D. 委託事業者と中小受託事業者の取引を適正化し、受託側の利益保護を図る法律

0070 ストラテジ系 / 法務 / 特許権

Q70. 「特許権」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律
- B. 電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み
- C. 発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権
- D. 製造物の欠陥によって生命・身体・財産に損害が生じた場合の製造業者等の責任を定める法律

0071 ストラテジ系 / 法務 / 商標権

Q71. 「商標権」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権
- B. 営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律
- C. 商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利
- D. 電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み

0072 ストラテジ系 / 法務 / 不正競争防止法

Q72. 「不正競争防止法」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み
- B. 営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律
- C. 商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利
- D. 著作物を創作した者の権利を保護する法律

0073 ストラテジ系 / 法務 / 営業秘密

Q73. 「営業秘密」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア
- B. 一定の業務遂行を目的とし、完成物の完成までは約束しない契約
- C. 秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報
- D. 著作物を創作した者の権利を保護する法律

0074 ストラテジ系 / 法務 / ライセンス契約

Q74. 「ライセンス契約」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律
- B. ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約
- C. 業務上知った秘密情報を第三者に漏らさないことを定める契約
- D. 製造物の欠陥によって生命・身体・財産に損害が生じた場合の製造業者等の責任を定める法律

0075 ストラテジ系 / 法務 / OSS

Q75. 「OSS」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 仕事の完成を目的とし、完成物に対して報酬を支払う契約
- B. ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約
- C. 秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報
- D. ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア

0076 ストラテジ系 / 法務 / 請負契約

Q76. 「請負契約」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 業務上知った秘密情報を第三者に漏らさないことを定める契約
- B. 仕事の完成を目的とし、完成物に対して報酬を支払う契約
- C. 生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律
- D. 製造物の欠陥によって生命・身体・財産に損害が生じた場合の製造業者等の責任を定める法律

0077 ストラテジ系 / 法務 / 準委任契約

Q77. 「準委任契約」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア
- B. 一定の業務遂行を目的とし、完成物の完成までは約束しない契約
- C. 電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み
- D. 著作物を創作した者の権利を保護する法律

0078 ストラテジ系 / 法務 / 中小受託取引適正化法

Q78. 「中小受託取引適正化法」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 仕事の完成を目的とし、完成物に対して報酬を支払う契約
- B. 電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み
- C. 商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利
- D. 委託事業者と中小受託事業者の取引を適正化し、受託側の利益保護を図る法律

0079 ストラテジ系 / 法務 / PL法

Q79. 「PL法」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律
- B. 製造物の欠陥によって生命・身体・財産に損害が生じた場合の製造業者等の責任を定める法律
- C. 業務上知った秘密情報を第三者に漏らさないことを定める契約
- D. 著作物を創作した者の権利を保護する法律

0080 ストラテジ系 / 法務 / 電子署名

Q80. 「電子署名」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利
- B. 電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み
- C. 法令、社内規程、社会規範を守って活動すること
- D. 著作物を創作した者の権利を保護する法律

0081 ストラテジ系 / 法務 / コンプライアンス

Q81. 「コンプライアンス」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 法令、社内規程、社会規範を守って活動すること
- B. 仕事の完成を目的とし、完成物に対して報酬を支払う契約
- C. ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約
- D. 秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報

0082 ストラテジ系 / 法務 / 秘密保持契約

Q82. 「秘密保持契約」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 製造物の欠陥によって生命・身体・財産に損害が生じた場合の製造業者等の責任を定める法律
- B. ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約
- C. 業務上知った秘密情報を第三者に漏らさないことを定める契約
- D. 商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利

0083 ストラテジ系 / 法務 / 個人情報保護法

Q83. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

顧客名簿やメールアドレスを適切に管理する根拠を確認したい

- A. 著作権法
- B. 個人情報保護法
- C. ライセンス契約
- D. 秘密保持契約

0084 ストラテジ系 / 法務 / 著作権法

Q84. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

他人が作成した文章、画像、音楽を無断利用しないよう確認したい

- A. コンプライアンス
- B. 著作権法
- C. OSS
- D. 請負契約

0085 ストラテジ系 / 法務 / 特許権

Q85. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

新しい技術的アイデアを権利化して保護したい

- A. OSS
- B. 中小受託取引適正化法
- C. 特許権
- D. ライセンス契約

0086 ストラテジ系 / 法務 / 商標権

Q86. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

ブランド名やロゴを他社に使われないようにしたい

- A. 特許権
- B. 不正競争防止法
- C. コンプライアンス
- D. 商標権

0087 ストラテジ系 / 法務 / 不正競争防止法

Q87. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

退職者が営業秘密を持ち出す行為を防ぎたい

- A. 不正競争防止法
- B. 商標権
- C. 営業秘密
- D. 特許権

0088 ストラテジ系 / 法務 / 営業秘密

Q88. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

顧客リストや製造ノウハウを社外に漏らさないよう管理したい

- A. 電子署名
- B. 準委任契約
- C. 営業秘密
- D. PL法

0089 ストラテジ系 / 法務 / ライセンス契約

Q89. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

利用可能台数や改変可否などを契約で確認したい

- A. 請負契約
- B. 準委任契約
- C. 電子署名
- D. ライセンス契約

0090 ストラテジ系 / 法務 / OSS

Q90. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

無償利用できるライブラリの再配布条件を確認したい

- A. 商標権
- B. 特許権
- C. PL法
- D. OSS

0091 ストラテジ系 / 法務 / 請負契約

Q91. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

完成したシステムや成果物の納品を条件に支払いたい

- A. 請負契約
- B. コンプライアンス
- C. 商標権
- D. 不正競争防止法

0092 ストラテジ系 / 法務 / 準委任契約

Q92. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

専門家に作業時間ベースで調査や運用支援を依頼したい

- A. 営業秘密
- B. 特許権
- C. 準委任契約
- D. OSS

0093 ストラテジ系 / 法務 / 中小受託取引適正化法

Q93. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

発注側の不当な買いたたきや支払遅延を避けたい

- A. 商標権
- B. 不正競争防止法
- C. 個人情報保護法
- D. 中小受託取引適正化法

0094 ストラテジ系 / 法務 / PL法

Q94. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

製品欠陥による事故の責任範囲を確認したい

- A. PL法
- B. 秘密保持契約
- C. 請負契約
- D. 中小受託取引適正化法

0095 ストラテジ系 / 法務 / 電子署名

Q95. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

契約書を紙ではなく電子データで本人確認しながら締結したい

- A. 電子署名
- B. PL法
- C. 営業秘密
- D. OSS

0096 ストラテジ系 / 法務 / コンプライアンス

Q96. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

法令違反や不祥事を防ぐため社員教育を行いたい

- A. コンプライアンス
- B. 電子署名
- C. ライセンス契約
- D. OSS

0097 ストラテジ系 / 法務 / 秘密保持契約

Q97. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

委託先に新製品情報を開示する前に守秘義務を設定したい

- A. 秘密保持契約
- B. 営業秘密
- C. 商標権
- D. コンプライアンス

0098 ストラテジ系 / 法務 / 個人情報保護法

Q98. 「個人情報保護法」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 電子署名とは、生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律
- B. 中小受託取引適正化法とは、生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律
- C. OSSとは、生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律
- D. 個人情報保護法とは、生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律

0099 ストラテジ系 / 法務 / 著作権法

Q99. 「著作権法」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 営業秘密とは、著作物を創作した者の権利を保護する法律
- B. 特許権とは、著作物を創作した者の権利を保護する法律
- C. 著作権法とは、著作物を創作した者の権利を保護する法律
- D. 商標権とは、著作物を創作した者の権利を保護する法律

0100 ストラテジ系 / 法務 / 特許権

Q100. 「特許権」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 秘密保持契約とは、発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権
- B. 中小受託取引適正化法とは、発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権
- C. 特許権とは、発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権
- D. ライセンス契約とは、発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権

0101 ストラテジ系 / 法務 / 商標権

Q101. 「商標権」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 商標権とは、商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利
- B. 特許権とは、商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利
- C. 中小受託取引適正化法とは、商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利
- D. ライセンス契約とは、商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利

0102 ストラテジ系 / 法務 / 不正競争防止法

Q102. 「不正競争防止法」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 請負契約とは、営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律
- B. 不正競争防止法とは、営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律
- C. 秘密保持契約とは、営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律
- D. 特許権とは、営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律

0103 ストラテジ系 / 法務 / 営業秘密

Q103. 「営業秘密」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. ライセンス契約とは、秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報
- B. 営業秘密とは、秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報
- C. 電子署名とは、秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報
- D. 商標権とは、秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報

0104 ストラテジ系 / 法務 / ライセンス契約

Q104. 「ライセンス契約」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 個人情報保護法とは、ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約
- B. 不正競争防止法とは、ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約
- C. ライセンス契約とは、ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約
- D. 秘密保持契約とは、ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約

0105 ストラテジ系 / 法務 / OSS

Q105. 「OSS」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 不正競争防止法とは、ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア
- B. OSSとは、ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア
- C. 著作権法とは、ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア
- D. ライセンス契約とは、ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア

0106 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / マーケティング

Q106. 市場を年齢、地域、利用目的などで分ける活動として最も適切なものはどれか。

- A. ターゲティング
- B. ポジショニング
- C. セグメンテーション
- D. ベンチマーキング

0107 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SCM

Q107. 小売店の販売データをメーカーや物流会社と共有し、欠品や過剰在庫を減らす取組として最も適切なものはどれか。

- A. CRM
- B. SCM
- C. M&A
- D. BSC

0108 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 差別化戦略

Q108. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略

- A. マーケティングミックス
- B. ポジショニング
- C. 差別化戦略
- D. セグメンテーション

0109 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / コストリーダーシップ戦略

Q109. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

低コスト体制により価格競争力を高める戦略

- A. コストリーダーシップ戦略
- B. 差別化戦略
- C. ターゲティング
- D. M&A

0110 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 集中戦略

Q110. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略

- A. ベンチマーキング
- B. CRM
- C. 集中戦略
- D. コストリーダーシップ戦略

0111 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / CRM

Q111. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法

- A. CRM
- B. 集中戦略
- C. SFA
- D. ERP

0112 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SFA

Q112. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

営業活動を支援・効率化する情報システム

- A. ベンチマーキング
- B. SCM
- C. M&A
- D. SFA

0113 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SCM

Q113. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法

- A. 集中戦略
- B. CRM
- C. M&A
- D. SCM

0114 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ERP

Q114. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム

- A. ERP
- B. SCM
- C. バリューチェーン
- D. アライアンス

0115 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / マーケティングミックス

Q115. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策

- A. 集中戦略
- B. ポジショニング
- C. マーケティングミックス
- D. ERP

0116 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / セグメンテーション

Q116. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

市場を顧客属性やニーズなどで細分化すること

- A. コストリーダーシップ戦略
- B. マーケティングミックス
- C. 差別化戦略
- D. セグメンテーション

0117 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ターゲティング

Q117. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

細分化した市場の中から狙う顧客層を選ぶこと

- A. マーケティングミックス
- B. ターゲティング
- C. ベンチマーキング
- D. 集中戦略

0118 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ポジショニング

Q118. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

競合と比較して自社商品を顧客の頭の中にどう位置づけるかを設計すること

- A. ベンチマーキング
- B. 集中戦略
- C. ポジショニング
- D. 差別化戦略

0119 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / M&A

Q119. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

企業の合併や買収によって事業拡大や経営資源獲得を行うこと

- A. SCM
- B. 集中戦略
- C. M&A
- D. マーケティングミックス

0120 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / アライアンス

Q120. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

複数企業が独立性を保ちながら協力関係を結ぶこと

- A. CRM
- B. アライアンス
- C. ターゲティング
- D. M&A

0121 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / バリューチェーン

Q121. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

企業活動を価値を生む一連の活動として分析する考え方

- A. バリューチェーン
- B. マーケティングミックス
- C. 集中戦略
- D. 差別化戦略

0122 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ベンチマーキング

Q122. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

優れた他社や業界標準と比較して改善点を見つける手法

- A. 集中戦略
- B. ベンチマーキング
- C. M&A
- D. SCM

0123 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 差別化戦略

Q123. 「差別化戦略」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 複数企業が独立性を保ちながら協力関係を結ぶこと
- B. 競合と比較して自社商品を顧客の頭の中にどう位置づけるかを設計すること
- C. 競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略
- D. 企業の合併や買収によって事業拡大や経営資源獲得を行うこと

0124 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / コストリーダーシップ戦略

Q124. 「コストリーダーシップ戦略」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 企業の合併や買収によって事業拡大や経営資源獲得を行うこと
- B. 企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム
- C. 低コスト体制により価格競争力を高める戦略
- D. 競合と比較して自社商品を顧客の頭の中にどう位置づけるかを設計すること

0125 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 集中戦略

Q125. 「集中戦略」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 市場を顧客属性やニーズなどで細分化すること
- B. 特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略
- C. 企業活動を価値を生む一連の活動として分析する考え方
- D. 複数企業が独立性を保ちながら協力関係を結ぶこと

0126 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / CRM

Q126. 「CRM」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法
- B. 顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法
- C. 特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略
- D. 競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略

0127 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SFA

Q127. 「SFA」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法
- B. 特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略
- C. 営業活動を支援・効率化する情報システム
- D. 製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策

0128 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SCM

Q128. 「SCM」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 低コスト体制により価格競争力を高める戦略
- B. 競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略
- C. 調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法
- D. 細分化した市場の中から狙う顧客層を選ぶこと

0129 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ERP

Q129. 「ERP」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 低コスト体制により価格競争力を高める戦略
- B. 細分化した市場の中から狙う顧客層を選ぶこと
- C. 企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム
- D. 企業活動を価値を生む一連の活動として分析する考え方

0130 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / マーケティングミックス

Q130. 「マーケティングミックス」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 低コスト体制により価格競争力を高める戦略
- B. 市場を顧客属性やニーズなどで細分化すること
- C. 製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策
- D. 特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略

0131 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / セグメンテーション

Q131. 「セグメンテーション」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 優れた他社や業界標準と比較して改善点を見つける手法
- B. 市場を顧客属性やニーズなどで細分化すること
- C. 企業の合併や買収によって事業拡大や経営資源獲得を行うこと
- D. 細分化した市場の中から狙う顧客層を選ぶこと

0132 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ターゲティング

Q132. 「ターゲティング」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 細分化した市場の中から狙う顧客層を選ぶこと
- B. 企業活動を価値を生む一連の活動として分析する考え方
- C. 企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム
- D. 企業の合併や買収によって事業拡大や経営資源獲得を行うこと

0133 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ポジショニング

Q133. 「ポジショニング」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法
- B. 製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策
- C. 競合と比較して自社商品を顧客の頭の中にどう位置づけるかを設計すること
- D. 調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法

0134 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / M&A

Q134. 「M&A」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略
- B. 企業活動を価値を生む一連の活動として分析する考え方
- C. 優れた他社や業界標準と比較して改善点を見つける手法
- D. 企業の合併や買収によって事業拡大や経営資源獲得を行うこと

0135 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / アライアンス

Q135. 「アライアンス」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法
- B. 複数企業が独立性を保ちながら協力関係を結ぶこと
- C. 特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略
- D. 営業活動を支援・効率化する情報システム

0136 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / バリューチェーン

Q136. 「バリューチェーン」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 企業活動を価値を生む一連の活動として分析する考え方
- B. 優れた他社や業界標準と比較して改善点を見つける手法
- C. 競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略
- D. 企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム

0137 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ベンチマーキング

Q137. 「ベンチマーキング」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略
- B. 企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム
- C. 優れた他社や業界標準と比較して改善点を見つける手法
- D. 顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法

0138 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 差別化戦略

Q138. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

価格ではなく品質やブランドで選ばれる方針を取りたい

- A. 差別化戦略
- B. ベンチマーキング
- C. M&A
- D. 集中戦略

0139 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / コストリーダーシップ戦略

Q139. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

大量生産や効率化で低価格販売を実現したい

- A. SFA
- B. SCM
- C. コストリーダーシップ戦略
- D. 集中戦略

0140 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 集中戦略

Q140. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

特定地域や専門分野に絞って強みを発揮したい

- A. バリューチェーン
- B. M&A
- C. コストリーダーシップ戦略
- D. 集中戦略

0141 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / CRM

Q141. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

購買履歴を基に顧客ごとに最適な提案をしたい

- A. マーケティングミックス
- B. SFA
- C. バリューチェーン
- D. CRM

0142 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SFA

Q142. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

商談履歴や見込み客管理を共有したい

- A. CRM
- B. SFA
- C. M&A
- D. マーケティングミックス

0143 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SCM

Q143. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

在庫過多や欠品を減らすため取引先と需要情報を共有したい

- A. SCM
- B. SFA
- C. ERP
- D. アライアンス

0144 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ERP

Q144. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

部門ごとに分散した業務データを一元管理したい

- A. 集中戦略
- B. ポジショニング
- C. ERP
- D. コストリーダーシップ戦略

0145 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / マーケティングミックス

Q145. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

4Pを組み合わせて販売戦略を立てたい

- A. マーケティングミックス
- B. コストリーダーシップ戦略
- C. アライアンス
- D. SFA

0146 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / セグメンテーション

Q146. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

年齢や利用目的で市場を分けて考えたい

- A. SFA
- B. セグメンテーション
- C. 差別化戦略
- D. ポジショニング

0147 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ターゲティング

Q147. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

最も収益性が高い顧客層に広告を集中したい

- A. SCM
- B. マーケティングミックス
- C. ターゲティング
- D. ポジショニング

0148 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ポジショニング

Q148. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

高品質・安心という印象を市場に作りたい

- A. バリューチェーン
- B. 差別化戦略
- C. ポジショニング
- D. 集中戦略

0149 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / M&A

Q149. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

技術や販路を持つ企業を買収して事業を広げたい

- A. ターゲティング
- B. コストリーダシップ戦略
- C. ポジショニング
- D. M&A

0150 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / アライアンス

Q150. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

他社と共同で新サービスを展開したい

- A. アライアンス
- B. コストリーダシップ戦略
- C. CRM
- D. ターゲティング

0151 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / バリューチェーン

Q151. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

調達、製造、物流、販売、サービスのどこで強みがあるか調べたい

- A. ターゲティング
- B. マーケティングミックス
- C. セグメンテーション
- D. バリューチェーン

0152 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ベンチマーキング

Q152. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

業界トップ企業の業務指標と自社を比較したい

- A. 集中戦略
- B. コストリーダシップ戦略
- C. ベンチマーキング
- D. CRM

0153 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 差別化戦略

Q153. 「差別化戦略」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 差別化戦略とは、競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略
- B. セグメンテーションとは、競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略
- C. CRMとは、競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略
- D. M&Aとは、競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略

0154 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / コストリーダシップ戦略

Q154. 「コストリーダシップ戦略」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. コストリーダシップ戦略とは、低コスト体制により価格競争力を高める戦略
- B. マーケティングミックスとは、低コスト体制により価格競争力を高める戦略
- C. ターゲティングとは、低コスト体制により価格競争力を高める戦略
- D. M&Aとは、低コスト体制により価格競争力を高める戦略

0155 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 集中戦略

Q155. 「集中戦略」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. ポジショニングとは、特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略
- B. 集中戦略とは、特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略
- C. SFAとは、特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略
- D. コストリーダシップ戦略とは、特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略

0156 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / CRM

Q156. 「CRM」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 差別化戦略とは、顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法
- B. M&Aとは、顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法
- C. CRMとは、顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法
- D. ターゲティングとは、顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法

0157 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SFA

Q157. 「SFA」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 集中戦略とは、営業活動を支援・効率化する情報システム
- B. 差別化戦略とは、営業活動を支援・効率化する情報システム
- C. コストリーダシップ戦略とは、営業活動を支援・効率化する情報システム
- D. SFAとは、営業活動を支援・効率化する情報システム

0158 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SCM

Q158. 「SCM」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. SCMとは、調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法
- B. バリューチェーンとは、調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法
- C. セグメンテーションとは、調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法
- D. ERPとは、調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法

0159 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ERP

Q159. 「ERP」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. SFAとは、企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム
- B. バリューチェーンとは、企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム
- C. セグメンテーションとは、企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム
- D. ERPとは、企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム

0160 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / マーケティングミックス

Q160. 「マーケティングミックス」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. マーケティングミックスとは、製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策
- B. セグメンテーションとは、製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策
- C. ターゲティングとは、製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策
- D. ERPとは、製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策

0161 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / MOT

Q161. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

技術を経営資源として活用し、事業価値につなげる管理手法

- A. デファクトスタンダード
- B. プロセスイノベーション
- C. MOT
- D. 標準化

0162 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 技術ロードマップ

Q162. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

将来の市場や製品に必要な技術を時系列で整理した計画

- A. PoC
- B. 標準化
- C. 技術ロードマップ
- D. 特許ポートフォリオ

0163 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / R&D

Q163. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

新製品や新技術のために行う研究開発活動

- A. プロダクトイノベーション
- B. オープンイノベーション
- C. R&D
- D. 特許ポートフォリオ

0164 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / オープンイノベーション

Q164. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

社外の技術や知識も活用して革新を生み出す考え方

- A. 特許ポートフォリオ
- B. プロセスイノベーション
- C. 標準化
- D. オープンイノベーション

0165 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / プロダクトイノベーション

Q165. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

新しい製品やサービスを生み出す革新

- A. プロダクトイノベーション
- B. R&D
- C. 技術ロードマップ
- D. 特許ポートフォリオ

0166 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / プロセスイノベーション

Q166. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

製造方法や業務プロセスを革新して効率や品質を高めること

- A. プロセスイノベーション
- B. R&D
- C. デファクトスタンダード
- D. MOT

0167 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / PoC

Q167. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

新しい技術やアイデアが実現可能か小規模に検証すること

- A. PoC
- B. オープンイノベーション
- C. R&D
- D. 特許ポートフォリオ

0168 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 特許ポートフォリオ

Q168. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

保有特許を技術分野や事業価値ごとに整理し活用する考え方

- A. 特許ポートフォリオ
- B. 標準化
- C. プロセスイノベーション
- D. プロダクトイノベーション

0169 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / デファクトスタンダード

Q169. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

市場競争の結果、事実上の標準となった規格や製品

- A. デファクトスタンダード
- B. プロダクトイノベーション
- C. R&D
- D. オープンイノベーション

0170 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 標準化

Q170. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

製品や業務の仕様を統一し、互換性や効率性を高めること

- A. 特許ポートフォリオ
- B. 標準化
- C. プロダクトイノベーション
- D. 技術ロードマップ

0171 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / MOT

Q171. 「MOT」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 技術を経営資源として活用し、事業価値につなげる管理手法
- B. 新製品や新技術のために行う研究開発活動
- C. 市場競争の結果、事実上の標準となった規格や製品
- D. 製造方法や業務プロセスを革新して効率や品質を高めること

0172 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 技術ロードマップ

Q172. 「技術ロードマップ」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来の市場や製品に必要な技術を時系列で整理した計画
- B. 新しい製品やサービスを生み出す革新
- C. 製造方法や業務プロセスを革新して効率や品質を高めること
- D. 技術を経営資源として活用し、事業価値につなげる管理手法

0173 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / R&D

Q173. 「R&D」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 技術を経営資源として活用し、事業価値につなげる管理手法
- B. 製造方法や業務プロセスを革新して効率や品質を高めること
- C. 新製品や新技術のために行う研究開発活動
- D. 新しい製品やサービスを生み出す革新

0174 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / オープンイノベーション

Q174. 「オープンイノベーション」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 新製品や新技術のために行う研究開発活動
- B. 技術を経営資源として活用し、事業価値につなげる管理手法
- C. 社外の技術や知識も活用して革新を生み出す考え方
- D. 製品や業務の仕様を統一し、互換性や効率性を高めること

0175 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / プロダクトイノベーション

Q175. 「プロダクトイノベーション」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 新しい製品やサービスを生み出す革新
- B. 製品や業務の仕様を統一し、互換性や効率性を高めること
- C. 将来の市場や製品に必要な技術を時系列で整理した計画
- D. 新しい技術やアイデアが実現可能か小規模に検証すること

0176 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / プロセスイノベーション

Q176. 「プロセスイノベーション」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 技術を経営資源として活用し、事業価値につなげる管理手法
- B. 製品や業務の仕様を統一し、互換性や効率性を高めること
- C. 製造方法や業務プロセスを革新して効率や品質を高めること
- D. 新製品や新技術のために行う研究開発活動

0177 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / PoC

Q177. 「PoC」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 保有特許を技術分野や事業価値ごとに整理し活用する考え方
- B. 新しい製品やサービスを生み出す革新
- C. 社外の技術や知識も活用して革新を生み出す考え方
- D. 新しい技術やアイデアが実現可能か小規模に検証すること

0178 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 特許ポートフォリオ

Q178. 「特許ポートフォリオ」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来の市場や製品に必要な技術を時系列で整理した計画
- B. 製造方法や業務プロセスを革新して効率や品質を高めること
- C. 市場競争の結果、事実上の標準となった規格や製品
- D. 保有特許を技術分野や事業価値ごとに整理し活用する考え方

0179 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / デファクトスタンダード

Q179. 「デファクトスタンダード」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 市場競争の結果、事実上の標準となった規格や製品
- B. 製造方法や業務プロセスを革新して効率や品質を高めること
- C. 将来の市場や製品に必要な技術を時系列で整理した計画
- D. 新しい技術やアイデアが実現可能か小規模に検証すること

0180 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 標準化

Q180. 「標準化」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来の市場や製品に必要な技術を時系列で整理した計画
- B. 新しい製品やサービスを生み出す革新
- C. 製品や業務の仕様を統一し、互換性や効率性を高めること
- D. 新しい技術やアイデアが実現可能か小規模に検証すること

0181 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / MOT

Q181. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

研究開発成果を商品化し収益につなげたい

- A. PoC
- B. プロセスイノベーション
- C. MOT
- D. R&D

0182 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 技術ロードマップ

Q182. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

3年後の製品化に向け、必要な技術開発の順序を示したい

- A. プロダクトイノベーション
- B. 技術ロードマップ
- C. プロセスイノベーション
- D. R&D

0183 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / R&D

Q183. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

新素材や新機能の実用化に向けて実験したい

- A. 特許ポートフォリオ
- B. 技術ロードマップ
- C. R&D
- D. プロダクトイノベーション

0184 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / オープンイノベーション

Q184. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

大学やスタートアップと連携して新サービスを作りたい

- A. プロセスイノベーション
- B. デファクトスタンダード
- C. 技術ロードマップ
- D. オープンイノベーション

0185 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / プロダクトイノベーション

Q185. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

既存市場にない新機能を持つ商品を開発したい

- A. デファクトスタンダード
- B. オープンイノベーション
- C. PoC
- D. プロダクトイノベーション

0186 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / プロセスイノベーション

Q186. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

生産ラインを自動化して原価と不良率を下げたい

- A. オープンイノベーション
- B. R&D
- C. プロダクトイノベーション
- D. プロセスイノベーション

0187 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / PoC

Q187. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

本格導入前にAI分析が業務に使えるか試したい

- A. プロダクトイノベーション
- B. MOT
- C. デファクトスタンダード
- D. PoC

0188 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 特許ポートフォリオ

Q188. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

複数の特許を事業戦略に合わせて管理したい

- A. MOT
- B. 技術ロードマップ
- C. 特許ポートフォリオ
- D. プロセスイノベーション

0189 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / デファクトスタンダード

Q189. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

公的規格ではないが多くの利用者に選ばれ標準化したものを表したい

- A. PoC
- B. デファクトスタンダード
- C. R&D
- D. 標準化

0190 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 標準化

Q190. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

部品や手順を共通化して品質と保守性を高めたい

- A. 技術ロードマップ
- B. デファクトスタンダード
- C. 標準化
- D. オープンイノベーション

0191 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / DX

Q191. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること

- A. フィンテック
- B. 生成AI
- C. DX
- D. IoT

0192 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / IoT

Q192. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み

- A. DX
- B. IoT
- C. ビッグデータ
- D. NFT

0193 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / AI

Q193. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術

- A. IoT
- B. スマートファクトリー
- C. AI
- D. NFT

0194 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / 生成AI

Q194. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI

- A. AI
- B. 生成AI
- C. NFT
- D. EC

0195 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ビッグデータ

Q195. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群

- A. AI
- B. DX
- C. ビッグデータ
- D. スマートファクトリー

0196 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / データサイエンス

Q196. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野

- A. AI
- B. 生成AI
- C. データサイエンス
- D. スマートファクトリー

0197 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / フィンテック

Q197. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み

- A. 生成AI
- B. DX
- C. ビッグデータ
- D. フィンテック

0198 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / EC

Q198. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

インターネットを利用して商品やサービスを売買する電子商取引

- A. IoT
- B. シェアリングエコノミー
- C. ロングテール
- D. EC

0199 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ロングテール

Q199. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方

- A. NFT
- B. クラウドファンディング
- C. AI
- D. ロングテール

0200 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / サブスクリプション

Q200. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル

- A. クラウドファンディング
- B. ビッグデータ
- C. NFT
- D. サブスクリプション

0201 ストラテジ系 / ビジネスインダストリー / シェアリングエコノミー

Q201. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

個人や企業が保有する資産を共有・活用する経済モデル

- A. ビッグデータ
- B. シェアリングエコノミー
- C. フィンテック
- D. データサイエンス

0202 ストラテジ系 / ビジネスインダストリー / クラウドファンディング

Q202. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

多数の人からインターネットを通じて資金を集める仕組み

- A. データサイエンス
- B. フィンテック
- C. クラウドファンディング
- D. シェアリングエコノミー

0203 ストラテジ系 / ビジネスインダストリー / スマートファクトリー

Q203. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

IoTやAIで工場の生産性や品質を高める工場

- A. AI
- B. スマートファクトリー
- C. データサイエンス
- D. シェアリングエコノミー

0204 ストラテジ系 / ビジネスインダストリー / APIエコノミー

Q204. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

APIを通じて機能やデータを外部連携し価値を生む経済活動

- A. APIエコノミー
- B. スマートファクトリー
- C. クラウドファンディング
- D. サブスクリプション

0205 ストラテジ系 / ビジネスインダストリー / NFT

Q205. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

ブロックチェーン上で唯一性を示す非代替性トークン

- A. スマートファクトリー
- B. NFT
- C. クラウドファンディング
- D. ロングテール

0206 ストラテジ系 / ビジネスインダストリー / DX

Q206. 「DX」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術
- B. 文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI
- C. デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること
- D. APIを通じて機能やデータを外部連携し価値を生む経済活動

0207 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / IoT

Q207. 「IoT」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み
- B. デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること
- C. 一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル
- D. 販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方

0208 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / AI

Q208. 「AI」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. APIを通じて機能やデータを外部連携し価値を生む経済活動
- B. 個人や企業が保有する資産を共有・活用する経済モデル
- C. IoTやAIで工場の生産性や品質を高める工場
- D. 学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術

0209 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / 生成AI

Q209. 「生成AI」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること
- B. 文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI
- C. IoTやAIで工場の生産性や品質を高める工場
- D. データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野

0210 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ビッグデータ

Q210. 「ビッグデータ」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野
- B. 個人や企業が保有する資産を共有・活用する経済モデル
- C. 従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群
- D. ブロックチェーン上で唯一性を示す非代替性トークン

0211 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / データサイエンス

Q211. 「データサイエンス」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み
- B. 学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術
- C. データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野
- D. 販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方

0212 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / フィンテック

Q212. 「フィンテック」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI
- B. ブロックチェーン上で唯一性を示す非代替性トークン
- C. 金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み
- D. 一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル

0213 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / EC

Q213. 「EC」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. ブロックチェーン上で唯一性を示す非代替性トークン
- B. 学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術
- C. インターネットを利用して商品やサービスを売買する電子商取引
- D. モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み

0214 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ロングテール

Q214. 「ロングテール」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. APIを通じて機能やデータを外部連携し価値を生む経済活動
- B. 従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群
- C. 販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方
- D. 個人や企業が保有する資産を共有・活用する経済モデル

0215 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / サブスクリプション

Q215. 「サブスクリプション」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル
- B. 販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方
- C. 文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI
- D. IoTやAIで工場の生産性や品質を高める工場

0216 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / シェアリングエコノミー

Q216. 「シェアリングエコノミー」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 個人や企業が保有する資産を共有・活用する経済モデル
- B. 従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群
- C. 販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方
- D. APIを通じて機能やデータを外部連携し価値を生む経済活動

0217 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / クラウドファンディング

Q217. 「クラウドファンディング」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術
- B. APIを通じて機能やデータを外部連携し価値を生む経済活動
- C. デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること
- D. 多数の人からインターネットを通じて資金を集める仕組み

0218 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / スマートファクトリー

Q218. 「スマートファクトリー」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル
- B. データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野
- C. IoTやAIで工場の生産性や品質を高める工場
- D. モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み

0219 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / APIエコノミー

Q219. 「APIエコノミー」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 多数の人からインターネットを通じて資金を集める仕組み
- B. APIを通じて機能やデータを外部連携し価値を生む経済活動
- C. 学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術
- D. 金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み

0220 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / NFT

Q220. 「NFT」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI
- B. データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野
- C. ブロックチェーン上で唯一性を示す非代替性トークン
- D. 金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み

0221 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / DX

Q221. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

紙の置換だけでなくサービス提供方法そのものを変えたい

- A. ロングテール
- B. DX
- C. フィンテック
- D. NFT

0222 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / IoT

Q222. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

工場設備から稼働データを自動収集したい

- A. DX
- B. EC
- C. AI
- D. IoT

0223 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / AI

Q223. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

画像を分類したり需要を予測したりしたい

- A. AI
- B. フィンテック
- C. クラウドファンディング
- D. DX

0224 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / 生成AI

Q224. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

問い合わせ文面や画像案を自動作成したい

- A. フィンテック
- B. NFT
- C. 生成AI
- D. IoT

0225 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ビッグデータ

Q225. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

購買履歴、位置情報、SNS投稿を組み合わせて分析したい

- A. フィンテック
- B. シェアリングエコノミー
- C. ビッグデータ
- D. APIエコノミー

0226 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / データサイエンス

Q226. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

売上データから解約要因を分析したい

- A. ロングテール
- B. 生成AI
- C. データサイエンス
- D. クラウドファンディング

0227 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / フィンテック

Q227. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

スマートフォン決済や家計管理アプリを提供したい

- A. AI
- B. APIエコノミー
- C. クラウドファンディング
- D. フィンテック

0228 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / EC

Q228. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

実店舗ではなくWebサイトで商品を販売したい

- A. シェアリングエコノミー
- B. DX
- C. EC
- D. サブスクリプション

0229 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ロングテール

Q229. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

ネット店舗でニッチ商品を大量に取り扱いたい

- A. スマートファクトリー
- B. 生成AI
- C. IoT
- D. ロングテール

0230 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / サブスクリプション

Q230. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

ソフトウェアを月額利用料で提供したい

- A. シェアリングエコノミー
- B. ロングテール
- C. 生成AI
- D. サブスクリプション

0231 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / シェアリングエコノミー

Q231. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

空き部屋や車など未利用資産を他者に貸し出したい

- A. NFT
- B. IoT
- C. AI
- D. シェアリングエコノミー

0232 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / クラウドファンディング

Q232. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

新商品開発前に支援者から小口資金を集めたい

- A. クラウドファンディング
- B. AI
- C. ロングテール
- D. フィンテック

0233 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / スマートファクトリー

Q233. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

設備データを収集して予防保全や自動制御を行いたい

- A. DX
- B. スマートファクトリー
- C. サブスクリプション
- D. IoT

0234 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / APIエコノミー

Q234. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

決済や地図機能を外部サービスと連携して新サービスを作りたい

- A. ビッグデータ
- B. フィンテック
- C. スマートファクトリー
- D. APIエコノミー

0235 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / NFT

Q235. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

デジタルアートの所有証明を表現したい

- A. サブスクリプション
- B. AI
- C. NFT
- D. ロングテール

0236 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / DX

Q236. 「DX」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. DXとは、デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること
- B. スマートファクトリーとは、デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること
- C. サブスクリプションとは、デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること
- D. フィンテックとは、デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること

0237 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / IoT

Q237. 「IoT」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. スマートファクトリーとは、モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み
- B. AIとは、モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み
- C. IoTとは、モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み
- D. APIエコノミーとは、モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み

0238 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / AI

Q238. 「AI」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. クラウドファンディングとは、学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術
- B. 生成AIとは、学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術
- C. AIとは、学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術
- D. IoTとは、学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術

0239 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / 生成AI

Q239. 「生成AI」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. ビッグデータとは、文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI
- B. IoTとは、文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI
- C. AIとは、文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI
- D. 生成AIとは、文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI

0240 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ビッグデータ

Q240. 「ビッグデータ」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. ビッグデータとは、従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群
- B. AIとは、従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群
- C. データサイエンスとは、従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群
- D. シェアリングエコノミーとは、従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群

0241 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / データサイエンス

Q241. 「データサイエンス」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. データサイエンスとは、データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野
- B. サブスクリプションとは、データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野
- C. シェアリングエコノミーとは、データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野
- D. スマートファクトリーとは、データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野

0242 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / フィンテック

Q242. 「フィンテック」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. AIとは、金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み
- B. フィンテックとは、金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み
- C. ECとは、金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み
- D. APIエコノミーとは、金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み

0243 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / EC

Q243. 「EC」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. クラウドファンディングとは、インターネットを利用して商品やサービスを売買する電子商取引
- B. AIとは、インターネットを利用して商品やサービスを売買する電子商取引
- C. サブスクリプションとは、インターネットを利用して商品やサービスを売買する電子商取引
- D. ECとは、インターネットを利用して商品やサービスを売買する電子商取引

0244 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ロングテール

Q244. 「ロングテール」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. APIエコノミーとは、販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方
- B. ロングテールとは、販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方
- C. NFTとは、販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方
- D. フィンテックとは、販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方

0245 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / サブスクリプション

Q245. 「サブスクリプション」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. データサイエンスとは、一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル
- B. DXとは、一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル
- C. サブスクリプションとは、一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル
- D. NFTとは、一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル

0246 ストラテジ系 / システム戦略 / TCO

Q246. サーバ購入費だけでなく、保守費、電気代、運用担当者の人件費まで含めて比較する考え方はどれか。

- A. ROI
- B. TCO
- C. KPI
- D. RFI

0247 ストラテジ系 / システム戦略 / 情報システム戦略

Q247. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画

- A. EA
- B. RFI
- C. 情報システム戦略
- D. BPR

0248 ストラテジ系 / システム戦略 / EA

Q248. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方

- A. RFI
- B. EA
- C. As-Is/To-Be
- D. 全体最適

0249 ストラテジ系 / システム戦略 / BPR

Q249. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること

- A. 要件定義
- B. ROI
- C. ITポートフォリオ
- D. BPR

0250 ストラテジ系 / システム戦略 / 業務プロセスモデリング

Q250. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

業務の流れ、役割、情報を図やモデルで表すこと

- A. ROI
- B. 全体最適
- C. 業務プロセスモデリング
- D. システムライフサイクル

0251 ストラテジ系 / システム戦略 / RFI

Q251. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書

- A. BPR
- B. RFI
- C. 全体最適
- D. 業務プロセスモデリング

0252 ストラテジ系 / システム戦略 / RFP

Q252. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書

- A. 業務プロセスモデリング
- B. RFP
- C. ROI
- D. TCO

0253 ストラテジ系 / システム戦略 / SLA

Q253. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準

- A. 全体最適
- B. アウトソーシング
- C. ROI
- D. SLA

0254 ストラテジ系 / システム戦略 / ROI

Q254. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

投資額に対して得られる利益の割合を示す指標

- A. EA
- B. ROI
- C. RFI
- D. 全体最適

0255 ストラテジ系 / システム戦略 / TCO

Q255. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト

- A. As-Is/To-Be
- B. TCO
- C. システムライフサイクル
- D. 業務プロセスモデリング

0256 ストラテジ系 / システム戦略 / 全体最適

Q256. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

部分的な効率ではなく組織全体の効果が最大になるようにする考え方

- A. システムライフサイクル
- B. 全体最適
- C. ROI
- D. ITポートフォリオ

0257 ストラテジ系 / システム戦略 / ITポートフォリオ

Q257. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

複数のIT投資やシステムをリスクと効果で分類・管理する考え方

- A. 要件定義
- B. ROI
- C. SLA
- D. ITポートフォリオ

0258 ストラテジ系 / システム戦略 / アウトソーシング

Q258. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

業務の一部又は全部を外部企業に委託すること

- A. BPR
- B. As-Is/To-Be
- C. 全体最適
- D. アウトソーシング

0259 ストラテジ系 / システム戦略 / システムライフサイクル

Q259. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

企画、開発、運用、保守、廃棄までの一連の流れ

- A. 要件定義
- B. システムライフサイクル
- C. 業務プロセスモデリング
- D. EA

0260 ストラテジ系 / システム戦略 / 要件定義

Q260. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程

- A. ROI
- B. 要件定義
- C. TCO
- D. アウトソーシング

0261 ストラテジ系 / システム戦略 / As-Is/To-Be

Q261. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

現状の姿とあるべき姿を比較して改善点を見つける考え方

- A. RFI
- B. As-Is/To-Be
- C. アウトソーシング
- D. TCO

0262 ストラテジ系 / システム戦略 / 情報システム戦略

Q262. 「情報システム戦略」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画
- B. 企画、開発、運用、保守、廃棄までの一連の流れ
- C. システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程
- D. 投資額に対して得られる利益の割合を示す指標

0263 ストラテジ系 / システム戦略 / EA

Q263. 「EA」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準
- B. 複数のIT投資やシステムをリスクと効果で分類・管理する考え方
- C. 現状の姿とあるべき姿を比較して改善点を見つける考え方
- D. 業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方

0264 ストラテジ系 / システム戦略 / BPR

Q264. 「BPR」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること
- B. 部分的な効率ではなく組織全体の効果が最大になるようにする考え方
- C. 現状の姿とあるべき姿を比較して改善点を見つける考え方
- D. 複数のIT投資やシステムをリスクと効果で分類・管理する考え方

0265 ストラテジ系 / システム戦略 / 業務プロセスモデリング

Q265. 「業務プロセスモデリング」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 現状の姿とあるべき姿を比較して改善点を見つける考え方
- B. 投資額に対して得られる利益の割合を示す指標
- C. 業務の一部又は全部を外部企業に委託すること
- D. 業務の流れ、役割、情報を図やモデルで表すこと

0266 ストラテジ系 / システム戦略 / RFI

Q266. 「RFI」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト
- B. 経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画
- C. 提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書
- D. システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書

0267 ストラテジ系 / システム戦略 / RFP

Q267. 「RFP」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程
- B. システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書
- C. 業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方
- D. 導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト

0268 ストラテジ系 / システム戦略 / SLA

Q268. 「SLA」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準
- B. システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程
- C. 導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト
- D. 複数のIT投資やシステムをリスクと効果で分類・管理する考え方

0269 ストラテジ系 / システム戦略 / ROI

Q269. 「ROI」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 投資額に対して得られる利益の割合を示す指標
- B. システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程
- C. 業務の一部又は全部を外部企業に委託すること
- D. 複数のIT投資やシステムをリスクと効果で分類・管理する考え方

0270 ストラテジ系 / システム戦略 / TCO

Q270. 「TCO」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 部分的な効率ではなく組織全体の効果が最大になるようにする考え方
- B. システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程
- C. 導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト
- D. 複数のIT投資やシステムをリスクと効果で分類・管理する考え方

0271 ストラテジ系 / システム戦略 / 全体最適

Q271. 「全体最適」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト
- B. 現状の姿とあるべき姿を比較して改善点を見つける考え方
- C. 部分的な効率ではなく組織全体の効果が最大になるようにする考え方
- D. 投資額に対して得られる利益の割合を示す指標

0272 ストラテジ系 / システム戦略 / ITポートフォリオ

Q272. 「ITポートフォリオ」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト
- B. 複数のIT投資やシステムをリスクと効果で分類・管理する考え方
- C. システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程
- D. 業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方

0273 ストラテジ系 / システム戦略 / アウトソーシング

Q273. 「アウトソーシング」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 業務の一部又は全部を外部企業に委託すること
- B. 部分的な効率ではなく組織全体の効果が最大になるようにする考え方
- C. システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程
- D. 経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画

0274 ストラテジ系 / システム戦略 / システムライフサイクル

Q274. 「システムライフサイクル」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画
- B. 業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方
- C. 企画、開発、運用、保守、廃棄までの一連の流れ
- D. 既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること

0275 ストラテジ系 / システム戦略 / 要件定義

Q275. 「要件定義」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書
- B. 導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト
- C. 部分的な効率ではなく組織全体の効果が最大になるようにする考え方
- D. システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程

0276 ストラテジ系 / システム戦略 / As-Is/To-Be

Q276. 「As-Is/To-Be」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方
- B. 導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト
- C. 現状の姿とあるべき姿を比較して改善点を見つける考え方
- D. システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書

0277 ストラテジ系 / システム戦略 / 情報システム戦略

Q277. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

経営目標に合わせてIT投資の優先順位を決めたい

- A. 情報システム戦略
- B. EA
- C. アウトソーシング
- D. As-Is/To-Be

0278 ストラテジ系 / システム戦略 / EA

Q278. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

部門ごとに乱立したシステムを全社視点で整理したい

- A. BPR
- B. システムライフサイクル
- C. EA
- D. RFP

0279 ストラテジ系 / システム戦略 / BPR

Q279. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

単なる自動化ではなく仕事の流れ自体を作り直したい

- A. 要件定義
- B. SLA
- C. BPR
- D. TCO

0280 ストラテジ系 / システム戦略 / 業務プロセスモデリング

Q280. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

現行業務を可視化して改善点を見つけたい

- A. システムライフサイクル
- B. 業務プロセスモデリング
- C. アウトソーシング
- D. ROI

0281 ストラテジ系 / システム戦略 / RFI

Q281. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

調達前にどのような解決策があるか情報を集めたい

- A. 情報システム戦略
- B. RFI
- C. ROI
- D. SLA

0282 ストラテジ系 / システム戦略 / RFP

Q282. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

ベンダに見積りや実現方法を提案してもらいたい

- A. As-Is/To-Be
- B. RFP
- C. TCO
- D. 全体最適

0283 ストラテジ系 / システム戦略 / SLA

Q283. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

稼働率や対応時間を契約上明確にしたい

- A. TCO
- B. 全体最適
- C. 要件定義
- D. SLA

0284 ストラテジ系 / システム戦略 / ROI

Q284. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

IT投資が費用に見合うか評価したい

- A. BPR
- B. アウトソーシング
- C. SLA
- D. ROI

0285 ストラテジ系 / システム戦略 / TCO

Q285. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

サーバ購入費だけでなく保守費や人件費も含めて比較したい

- A. TCO
- B. システムライフサイクル
- C. SLA
- D. RFP

0286 ストラテジ系 / システム戦略 / 全体最適

Q286. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

一部門だけでなく会社全体の利益を優先してシステムを設計したい

- A. 全体最適
- B. BPR
- C. RFI
- D. ITポートフォリオ

0287 ストラテジ系 / システム戦略 / ITポートフォリオ

Q287. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

既存システムの維持、刷新、廃止の優先度を整理したい

- A. As-Is/To-Be
- B. SLA
- C. ITポートフォリオ
- D. TCO

0288 ストラテジ系 / システム戦略 / アウトソーシング

Q288. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

専門性が必要なシステム運用を外部に任せたい

- A. 要件定義
- B. アウトソーシング
- C. BPR
- D. As-Is/To-Be

0289 ストラテジ系 / システム戦略 / システムライフサイクル

Q289. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

システムを導入してから廃止するまでを管理したい

- A. SLA
- B. BPR
- C. RFP
- D. システムライフサイクル

0290 ストラテジ系 / システム戦略 / 要件定義

Q290. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

利用者が何を実現したいかを開発前に整理したい

- A. システムライフサイクル
- B. ITポートフォリオ
- C. 業務プロセスモデリング
- D. 要件定義

0291 ストラテジ系 / システム戦略 / As-Is/To-Be

Q291. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

現在の業務と将来の理想像の差を整理したい

- A. SLA
- B. As-Is/To-Be
- C. RFI
- D. ROI

0292 ストラテジ系 / システム戦略 / 情報システム戦略

Q292. 「情報システム戦略」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. ROIとは、経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画
- B. 情報システム戦略とは、経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画
- C. SLAとは、経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画
- D. ITポートフォリオとは、経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画

0293 ストラテジ系 / システム戦略 / EA

Q293. 「EA」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. TCOとは、業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方
- B. 業務プロセスモデリングとは、業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方
- C. EAとは、業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方
- D. BPRとは、業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方

0294 ストラテジ系 / システム戦略 / BPR

Q294. 「BPR」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. システムライフサイクルとは、既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること
- B. BPRとは、既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること
- C. ITポートフォリオとは、既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること
- D. 業務プロセスモデリングとは、既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること

0295 ストラテジ系 / システム戦略 / 業務プロセスモデリング

Q295. 「業務プロセスモデリング」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. アウトソーシングとは、業務の流れ、役割、情報を図やモデルで表すこと
- B. BPRとは、業務の流れ、役割、情報を図やモデルで表すこと
- C. 業務プロセスモデリングとは、業務の流れ、役割、情報を図やモデルで表すこと
- D. EAとは、業務の流れ、役割、情報を図やモデルで表すこと

0296 ストラテジ系 / システム戦略 / RFI

Q296. 「RFI」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. RFIとは、提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書
- B. 要件定義とは、提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書
- C. TCOとは、提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書
- D. アウトソーシングとは、提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書

0297 ストラテジ系 / システム戦略 / RFP

Q297. 「RFP」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 全体最適とは、システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書
- B. システムライフサイクルとは、システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書
- C. RFPとは、システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書
- D. SLAとは、システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書

0298 ストラテジ系 / システム戦略 / SLA

Q298. 「SLA」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. SLAとは、サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準
- B. RFIとは、サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準
- C. アウトソーシングとは、サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準
- D. ITポートフォリオとは、サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準

0299 ストラテジ系 / システム戦略 / ROI

Q299. 「ROI」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. EAとは、投資額に対して得られる利益の割合を示す指標
- B. ROIとは、投資額に対して得られる利益の割合を示す指標
- C. As-Is/To-Beとは、投資額に対して得られる利益の割合を示す指標
- D. SLAとは、投資額に対して得られる利益の割合を示す指標

0300 ストラテジ系 / システム戦略 / TCO

Q300. 「TCO」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 情報システム戦略とは、導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト
- B. EAとは、導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト
- C. ROIとは、導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト
- D. TCOとは、導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト

0301 ストラテジ系 / システム企画 / 非機能要件

Q301. 同時接続1,000人、応答時間3秒以内、月次バックアップ実施という条件は、要件分類としてどれに当たるか。

- A. 機能要件
- B. 非機能要件
- C. 業務要件
- D. 著作権要件

0302 ストラテジ系 / システム企画 / システム化計画

Q302. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画

- A. ベンダ選定
- B. システム化計画
- C. Fit&Gap分析
- D. 機能要件

0303 ストラテジ系 / システム企画 / 業務要件

Q303. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

業務上実現したい内容や制約を表した要件

- A. 業務要件
- B. 移行計画
- C. ユーザビリティ
- D. 要件トレーサビリティ

0304 ストラテジ系 / システム企画 / 機能要件

Q304. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

システムが提供すべき機能を表した要件

- A. 機能要件
- B. 業務要件
- C. プロトタイピング
- D. ユーザビリティ

0305 ストラテジ系 / システム企画 / 非機能要件

Q305. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件

- A. ベンダ選定
- B. ユーザビリティ
- C. 調達計画
- D. 非機能要件

0306 ストラテジ系 / システム企画 / 調達計画

Q306. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

外部からシステムやサービスを購入・委託するための計画

- A. プロトタイピング
- B. ユーザビリティ
- C. パッケージ導入
- D. 調達計画

0307 ストラテジ系 / システム企画 / ベンダ選定

Q307. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

提案内容、価格、実績、保守体制などを比較して委託先を選ぶこと

- A. 業務要件
- B. ベンダ選定
- C. ユーザビリティ
- D. フィージビリティスタディ

0308 ストラテジ系 / システム企画 / 要件トレーサビリティ

Q308. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

要件と設計・テスト・成果物の対応関係を追跡できること

- A. プロトタイピング
- B. 受入テスト
- C. パッケージ導入
- D. 要件トレーサビリティ

0309 ストラテジ系 / システム企画 / フィージビリティスタディ

Q309. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

実現可能性を技術・費用・運用面から事前に調査すること

- A. パッケージ導入
- B. プロトタイピング
- C. フィージビリティスタディ
- D. 受入テスト

0310 ストラテジ系 / システム企画 / プロトタイピング

Q310. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

試作品を作って利用者の確認を得ながら要件を明確にする手法

- A. プロトタイピング
- B. ベンダ選定
- C. 移行計画
- D. 業務要件

0311 ストラテジ系 / システム企画 / パッケージ導入

Q311. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること

- A. 受入テスト
- B. パッケージ導入
- C. 移行計画
- D. 非機能要件

0312 ストラテジ系 / システム企画 / Fit&Gap分析

Q312. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

パッケージの標準機能と業務要件の適合・差異を分析すること

- A. Fit&Gap分析
- B. 業務要件
- C. プロトタイピング
- D. パッケージ導入

0313 ストラテジ系 / システム企画 / 移行計画

Q313. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

旧システムから新システムへデータや業務を移す手順を定める計画

- A. ユーザビリティ
- B. 非機能要件
- C. 調達計画
- D. 移行計画

0314 ストラテジ系 / システム企画 / 投資効果評価

Q314. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

費用と効果を比較してシステム導入の妥当性を判断すること

- A. 移行計画
- B. 要件トレーサビリティ
- C. フィージビリティスタディ
- D. 投資効果評価

0315 ストラテジ系 / システム企画 / ユーザビリティ

Q315. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

利用者にとっての使いやすさ

- A. ユーザビリティ
- B. 機能要件
- C. 非機能要件
- D. 要件トレーサビリティ

0316 ストラテジ系 / システム企画 / 受入テスト

Q316. 次の説明に最も該当する用語はどれか。

発注者側が要件どおりにシステムが完成しているか確認するテスト

- A. 調達計画
- B. システム化計画
- C. ベンダ選定
- D. 受入テスト

0317 ストラテジ系 / システム企画 / システム化計画

Q317. 「システム化計画」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. パッケージの標準機能と業務要件の適合・差異を分析すること
- B. 既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること
- C. システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画
- D. 要件と設計・テスト・成果物の対応関係を追跡できること

0318 ストラテジ系 / システム企画 / 業務要件

Q318. 「業務要件」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 費用と効果を比較してシステム導入の妥当性を判断すること
- B. 性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件
- C. 要件と設計・テスト・成果物の対応関係を追跡できること
- D. 業務上実現したい内容や制約を表した要件

0319 ストラテジ系 / システム企画 / 機能要件

Q319. 「機能要件」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 提案内容、価格、実績、保守体制などを比較して委託先を選ぶこと
- B. 旧システムから新システムへデータや業務を移す手順を定める計画
- C. システムが提供すべき機能を表した要件
- D. 既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること

0320 ストラテジ系 / システム企画 / 非機能要件

Q320. 「非機能要件」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件
- B. 既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること
- C. 発注者側が要件どおりにシステムが完成しているか確認するテスト
- D. 利用者にとっての使いやすさ

0321 ストラテジ系 / システム企画 / 調達計画

Q321. 「調達計画」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 外部からシステムやサービスを購入・委託するための計画
- B. 既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること
- C. システムが提供すべき機能を表した要件
- D. 要件と設計・テスト・成果物の対応関係を追跡できること

0322 ストラテジ系 / システム企画 / ベンダ選定

Q322. 「ベンダ選定」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること
- B. 費用と効果を比較してシステム導入の妥当性を判断すること
- C. 業務上実現したい内容や制約を表した要件
- D. 提案内容、価格、実績、保守体制などを比較して委託先を選ぶこと

0323 ストラテジ系 / システム企画 / 要件トレーサビリティ

Q323. 「要件トレーサビリティ」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 試作品を作って利用者の確認を得ながら要件を明確にする手法
- B. パッケージの標準機能と業務要件の適合・差異を分析すること
- C. 費用と効果を比較してシステム導入の妥当性を判断すること
- D. 要件と設計・テスト・成果物の対応関係を追跡できること

0324 ストラテジ系 / システム企画 / フィージビリティスタディ

Q324. 「フィージビリティスタディ」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. パッケージの標準機能と業務要件の適合・差異を分析すること
- B. 試作品を作って利用者の確認を得ながら要件を明確にする手法
- C. 旧システムから新システムへデータや業務を移す手順を定める計画
- D. 実現可能性を技術・費用・運用面から事前に調査すること

0325 ストラテジ系 / システム企画 / プロトタイピング

Q325. 「プロトタイピング」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者にとっての使いやすさ
- B. 既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること
- C. 試作品を作って利用者の確認を得ながら要件を明確にする手法
- D. 外部からシステムやサービスを購入・委託するための計画

0326 ストラテジ系 / システム企画 / パッケージ導入

Q326. 「パッケージ導入」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 実現可能性を技術・費用・運用面から事前に調査すること
- B. 既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること
- C. 利用者にとっての使いやすさ
- D. システムが提供すべき機能を表した要件

0327 ストラテジ系 / システム企画 / Fit&Gap分析

Q327. 「Fit&Gap分析」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. パッケージの標準機能と業務要件の適合・差異を分析すること
- B. システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画
- C. 旧システムから新システムへデータや業務を移す手順を定める計画
- D. 性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件

0328 ストラテジ系 / システム企画 / 移行計画

Q328. 「移行計画」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 旧システムから新システムへデータや業務を移す手順を定める計画
- B. 発注者側が要件どおりにシステムが完成しているか確認するテスト
- C. 利用者にとっての使いやすさ
- D. 業務上実現したい内容や制約を表した要件

0329 ストラテジ系 / システム企画 / 投資効果評価

Q329. 「投資効果評価」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 外部からシステムやサービスを購入・委託するための計画
- B. 提案内容、価格、実績、保守体制などを比較して委託先を選ぶこと
- C. 既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること
- D. 費用と効果を比較してシステム導入の妥当性を判断すること

0330 ストラテジ系 / システム企画 / ユーザビリティ

Q330. 「ユーザビリティ」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画
- B. 利用者にとっての使いやすさ
- C. 実現可能性を技術・費用・運用面から事前に調査すること
- D. 既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること

0331 ストラテジ系 / システム企画 / 受入テスト

Q331. 「受入テスト」の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 費用と効果を比較してシステム導入の妥当性を判断すること
- B. 既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること
- C. 発注者側が要件どおりにシステムが完成しているか確認するテスト
- D. 性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件

0332 ストラテジ系 / システム企画 / システム化計画

Q332. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

新システム導入の狙いや費用対効果を整理したい

- A. 投資効果評価
- B. システム化計画
- C. パッケージ導入
- D. ユーザビリティ

0333 ストラテジ系 / システム企画 / 業務要件

Q333. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

受注後24時間以内に発送したいという業務上の条件を定めたい

- A. ユーザビリティ
- B. 移行計画
- C. 業務要件
- D. 要件トレーサビリティ

0334 ストラテジ系 / システム企画 / 機能要件

Q334. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

ログイン、検索、帳票出力など必要な機能を定めたい

- A. 業務要件
- B. Fit&Gap分析
- C. 調達計画
- D. 機能要件

0335 ストラテジ系 / システム企画 / 非機能要件

Q335. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

同時アクセス数やバックアップ頻度を定めたい

- A. プロトタイピング
- B. 非機能要件
- C. 受入テスト
- D. Fit&Gap分析

0336 ストラテジ系 / システム企画 / 調達計画

Q336. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

ベンダ選定や見積り、契約までの進め方を整理したい

- A. 非機能要件
- B. 調達計画
- C. フィージビリティスタディ
- D. 投資効果評価

0337 ストラテジ系 / システム企画 / ベンダ選定

Q337. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

複数社の提案を評価基準で採点したい

- A. 受入テスト
- B. 投資効果評価
- C. ベンダ選定
- D. パッケージ導入

0338 ストラテジ系 / システム企画 / 要件トレーサビリティ

Q338. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

要求が設計やテストに反映されているか確認したい

- A. 投資効果評価
- B. 非機能要件
- C. 調達計画
- D. 要件トレーサビリティ

0339 ストラテジ系 / システム企画 / フィージビリティスタディ

Q339. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

企画段階で導入が現実的か検討したい

- A. フィージビリティスタディ
- B. ユーザビリティ
- C. 要件トレーサビリティ
- D. 非機能要件

0340 ストラテジ系 / システム企画 / プロトタイピング

Q340. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

画面イメージを早めに見せて要望を確認したい

- A. 投資効果評価
- B. プロトタイピング
- C. Fit&Gap分析
- D. パッケージ導入

0341 ストラテジ系 / システム企画 / パッケージ導入

Q341. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

一から開発せず、市販の業務ソフトを導入したい

- A. パッケージ導入
- B. ユーザビリティ
- C. システム化計画
- D. Fit&Gap分析

0342 ストラテジ系 / システム企画 / Fit&Gap分析

Q342. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

既製ソフトで対応できる業務と追加対応が必要な業務を整理したい

- A. 要件トレーサビリティ
- B. Fit&Gap分析
- C. 受入テスト
- D. ユーザビリティ

0343 ストラテジ系 / システム企画 / 移行計画

Q343. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

切替日にデータを安全に移し業務停止を最小化したい

- A. 移行計画
- B. ベンダ選定
- C. Fit&Gap分析
- D. 業務要件

0344 ストラテジ系 / システム企画 / 投資効果評価

Q344. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

削減できる人件費や売上増加を見積もりたい

- A. ベンダ選定
- B. 機能要件
- C. パッケージ導入
- D. 投資効果評価

0345 ストラテジ系 / システム企画 / ユーザビリティ

Q345. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

入力ミスが少なく直感的に使える画面にしたい

- A. Fit&Gap分析
- B. ユーザビリティ
- C. 要件トレーサビリティ
- D. 非機能要件

0346 ストラテジ系 / システム企画 / 受入テスト

Q346. 次の状況で用いる考え方・用語として最も適切なものはどれか。

納品前に利用部門が業務で使えるか確認したい

- A. 受入テスト
- B. フィージビリティスタディ
- C. ユーザビリティ
- D. 機能要件

0347 ストラテジ系 / システム企画 / システム化計画

Q347. 「システム化計画」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 要件トレーサビリティとは、システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画
- B. 業務要件とは、システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画
- C. フィージビリティスタディとは、システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画
- D. システム化計画とは、システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画

0348 ストラテジ系 / システム企画 / 業務要件

Q348. 「業務要件」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 機能要件とは、業務上実現したい内容や制約を表した要件
- B. ベンダ選定とは、業務上実現したい内容や制約を表した要件
- C. 投資効果評価とは、業務上実現したい内容や制約を表した要件
- D. 業務要件とは、業務上実現したい内容や制約を表した要件

0349 ストラテジ系 / システム企画 / 機能要件

Q349. 「機能要件」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 機能要件とは、システムが提供すべき機能を表した要件
- B. 調達計画とは、システムが提供すべき機能を表した要件
- C. 要件トレーサビリティとは、システムが提供すべき機能を表した要件
- D. 移行計画とは、システムが提供すべき機能を表した要件

0350 ストラテジ系 / システム企画 / 非機能要件

Q350. 「非機能要件」を説明した記述として最も適切なものはどれか。

- A. 要件トレーサビリティとは、性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件
- B. システム化計画とは、性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件
- C. 業務要件とは、性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件
- D. 非機能要件とは、性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件

解答・解説編

正解と解説を確認し、間違えた問題はタグ・知識項目単位で復習してください。

0001 ストラテジ系 / 企業活動 / 損益分岐点

Q1 正解 : C. 500個

解説 : 1個当たり限界利益は $2,000 - 1,200 = 800$ 円。損益分岐点販売数量は $400,000 \div 800 = 500$ 個。

0002 ストラテジ系 / 企業活動 / 限界利益

Q2 正解 : A. 4,000円

解説 : 限界利益は販売価格から変動費を差し引いた額なので、 $10,000 - 6,000 = 4,000$ 円。

0003 ストラテジ系 / 企業活動 / KPI/KGI

Q3 正解 : A. KGI

解説 : KGIは最終的な目標達成度を表す指標。途中経過を測る指標がKPI。

0004 ストラテジ系 / 企業活動 / PDCA

Q4 正解 : C. PDCA

解説 : 正解は「PDCA」。Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方

0005 ストラテジ系 / 企業活動 / KPI

Q5 正解 : C. KPI

解説 : 正解は「KPI」。目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標

0006 ストラテジ系 / 企業活動 / KGI

Q6 正解 : B. KGI

解説 : 正解は「KGI」。最終的な経営目標の達成度を表す指標

0007 ストラテジ系 / 企業活動 / BSC

Q7 正解 : C. BSC

解説 : 正解は「BSC」。財務、顧客、業務プロセス、学習と成長など複数の視点で業績を評価する手法

0008 ストラテジ系 / 企業活動 / CSR

Q8 正解 : A. CSR

解説 : 正解は「CSR」。企業が社会的責任を果たし、環境・人権・地域社会などに配慮して活動する考え方

0009 ストラテジ系 / 企業活動 / SDGs

Q9 正解 : B. SDGs

解説 : 正解は「SDGs」。持続可能な開発に向けた国際的な17の目標

0010 ストラテジ系 / 企業活動 / コーポレートガバナンス

Q10 正解 : B. コーポレートガバナンス

解説 : 正解は「コーポレートガバナンス」。企業経営を監視・統制し、株主など利害関係者の利益を守る仕組み

0011 ストラテジ系 / 企業活動 / 内部統制

Q11 正解：B. 内部統制

解説：正解は「内部統制」。業務の有効性、財務報告の信頼性、法令遵守などを確保するための社内仕組み

0012 ストラテジ系 / 企業活動 / ステークホルダ

Q12 正解：B. ステークホルダ

解説：正解は「ステークホルダ」。企業活動に利害関係をもつ個人や組織

0013 ストラテジ系 / 企業活動 / PPM

Q13 正解：A. PPM

解説：正解は「PPM」。市場成長率と相対的市場シェアで事業を分類する分析手法

0014 ストラテジ系 / 企業活動 / SWOT分析

Q14 正解：D. SWOT分析

解説：正解は「SWOT分析」。強み・弱み・機会・脅威を整理して戦略を検討する手法

0015 ストラテジ系 / 企業活動 / 3C分析

Q15 正解：B. 3C分析

解説：正解は「3C分析」。顧客、競合、自社の三つの視点から市場を分析する手法

0016 ストラテジ系 / 企業活動 / 損益分岐点

Q16 正解：C. 損益分岐点

解説：正解は「損益分岐点」。売上高と費用が等しくなり利益がゼロになる点

0017 ストラテジ系 / 企業活動 / 固定費

Q17 正解：C. 固定費

解説：正解は「固定費」。売上や生産量に関係なく一定額発生する費用

0018 ストラテジ系 / 企業活動 / 変動費

Q18 正解：D. 変動費

解説：正解は「変動費」。売上や生産量に比例して増減する費用

0019 ストラテジ系 / 企業活動 / PDCA

Q19 正解：C. Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方

解説：「PDCA」は、Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方

0020 ストラテジ系 / 企業活動 / KPI

Q20 正解：D. 目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標

解説：「KPI」は、目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標

0021 ストラテジ系 / 企業活動 / KGI

Q21 正解：B. 最終的な経営目標の達成度を表す指標

解説：「KGI」は、最終的な経営目標の達成度を表す指標

0022 ストラテジ系 / 企業活動 / BSC

Q22 正解：D. 財務、顧客、業務プロセス、学習と成長など複数の視点で業績を評価する手法

解説：「BSC」は、財務、顧客、業務プロセス、学習と成長など複数の視点で業績を評価する手法

0023 ストラテジ系 / 企業活動 / CSR

Q23 正解：A. 企業が社会的責任を果たし、環境・人権・地域社会などに配慮して活動する考え方

解説：「CSR」は、企業が社会的責任を果たし、環境・人権・地域社会などに配慮して活動する考え方

0024 ストラテジ系 / 企業活動 / SDGs

Q24 正解：B. 持続可能な開発に向けた国際的な17の目標

解説：「SDGs」は、持続可能な開発に向けた国際的な17の目標

0025 ストラテジ系 / 企業活動 / コーポレートガバナンス

Q25 正解：B. 企業経営を監視・統制し、株主など利害関係者の利益を守る仕組み

解説：「コーポレートガバナンス」は、企業経営を監視・統制し、株主など利害関係者の利益を守る仕組み

0026 ストラテジ系 / 企業活動 / 内部統制

Q26 正解：A. 業務の有効性、財務報告の信頼性、法令遵守などを確保するための社内仕組み

解説：「内部統制」は、業務の有効性、財務報告の信頼性、法令遵守などを確保するための社内仕組み

0027 ストラテジ系 / 企業活動 / ステークホルダ

Q27 正解：B. 企業活動に利害関係をもつ個人や組織

解説：「ステークホルダ」は、企業活動に利害関係をもつ個人や組織

0028 ストラテジ系 / 企業活動 / PPM

Q28 正解：A. 市場成長率と相対的市場シェアで事業を分類する分析手法

解説：「PPM」は、市場成長率と相対的市場シェアで事業を分類する分析手法

0029 ストラテジ系 / 企業活動 / SWOT分析

Q29 正解：C. 強み・弱み・機会・脅威を整理して戦略を検討する手法

解説：「SWOT分析」は、強み・弱み・機会・脅威を整理して戦略を検討する手法

0030 ストラテジ系 / 企業活動 / 3C分析

Q30 正解：B. 顧客、競合、自社の三つの視点から市場を分析する手法

解説：「3C分析」は、顧客、競合、自社の三つの視点から市場を分析する手法

0031 ストラテジ系 / 企業活動 / 損益分岐点

Q31 正解：D. 売上高と費用が等しくなり利益がゼロになる点

解説：「損益分岐点」は、売上高と費用が等しくなり利益がゼロになる点

0032 ストラテジ系 / 企業活動 / 固定費

Q32 正解：B. 売上や生産量に関係なく一定額発生する費用

解説：「固定費」は、売上や生産量に関係なく一定額発生する費用

0033 ストラテジ系 / 企業活動 / 変動費

Q33 正解：C. 売上や生産量に比例して増減する費用

解説：「変動費」は、売上や生産量に比例して増減する費用

0034 ストラテジ系 / 企業活動 / PDCA

Q34 正解：C. PDCA

解説：この状況は「PDCA」に該当する。Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方

0035 ストラテジ系 / 企業活動 / KPI

Q35 正解：B. KPI

解説：この状況は「KPI」に該当する。目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標

0036 ストラテジ系 / 企業活動 / KGI

Q36 正解：A. KGI

解説：この状況は「KGI」に該当する。最終的な経営目標の達成度を表す指標

0037 ストラテジ系 / 企業活動 / BSC

Q37 正解：D. BSC

解説：この状況は「BSC」に該当する。財務、顧客、業務プロセス、学習と成長など複数の視点で業績を評価する手法

0038 ストラテジ系 / 企業活動 / CSR

Q38 正解：B. CSR

解説：この状況は「CSR」に該当する。企業が社会的責任を果たし、環境・人権・地域社会などに配慮して活動する考え方

0039 ストラテジ系 / 企業活動 / SDGs

Q39 正解：C. SDGs

解説：この状況は「SDGs」に該当する。持続可能な開発に向けた国際的な17の目標

0040 ストラテジ系 / 企業活動 / コーポレートガバナンス

Q40 正解：B. コーポレートガバナンス

解説：この状況は「コーポレートガバナンス」に該当する。企業経営を監視・統制し、株主など利害関係者の利益を守る仕組み

0041 ストラテジ系 / 企業活動 / 内部統制

Q41 正解：C. 内部統制

解説：この状況は「内部統制」に該当する。業務の有効性、財務報告の信頼性、法令遵守などを確保するための社内仕組み

0042 ストラテジ系 / 企業活動 / ステークホルダ

Q42 正解：B. ステークホルダ

解説：この状況は「ステークホルダ」に該当する。企業活動に利害関係をもつ個人や組織

0043 ストラテジ系 / 企業活動 / PPM

Q43 正解：C. PPM

解説：この状況は「PPM」に該当する。市場成長率と相対的市場シェアで事業を分類する分析手法

0044 ストラテジ系 / 企業活動 / SWOT分析

Q44 正解：D. SWOT分析

解説：この状況は「SWOT分析」に該当する。強み・弱み・機会・脅威を整理して戦略を検討する手法

0045 ストラテジ系 / 企業活動 / 3C分析

Q45 正解：C. 3C分析

解説：この状況は「3C分析」に該当する。顧客、競合、自社の三つの視点から市場を分析する手法

0046 ストラテジ系 / 企業活動 / 損益分岐点

Q46 正解：D. 損益分岐点

解説：この状況は「損益分岐点」に該当する。売上高と費用が等しくなり利益がゼロになる点

0047 ストラテジ系 / 企業活動 / 固定費

Q47 正解：D. 固定費

解説：この状況は「固定費」に該当する。売上や生産量に関係なく一定額発生する費用

0048 ストラテジ系 / 企業活動 / 変動費

Q48 正解：D. 変動費

解説：この状況は「変動費」に該当する。売上や生産量に比例して増減する費用

0049 ストラテジ系 / 企業活動 / PDCA

Q49 正解：A. PDCAとは、Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方

解説：「PDCA」は、Plan・Do・Check・Actを繰り返し、業務や品質を継続的に改善する考え方

0050 ストラテジ系 / 企業活動 / KPI

Q50 正解：B. KPIとは、目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標

解説：「KPI」は、目標達成度を測るために設定する重要業績評価指標

0051 ストラテジ系 / 法務 / 著作権

Q51 正解：B. 著作権

解説：文章は著作物に該当し得るため、許諾なく全文転載すると著作権侵害となる可能性がある。

0052 ストラテジ系 / 法務 / 個人情報保護

Q52 正解：A. 個人情報保護

解説：氏名や住所など生存する個人を識別できる情報は、個人情報として適切に管理する必要がある。

0053 ストラテジ系 / 法務 / 個人情報保護法

Q53 正解：C. 個人情報保護法

解説：正解は「個人情報保護法」。生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律

0054 ストラテジ系 / 法務 / 著作権法

Q54 正解：D. 著作権法

解説：正解は「著作権法」。著作物を創作した者の権利を保護する法律

0055 ストラテジ系 / 法務 / 特許権

Q55 正解：A. 特許権

解説：正解は「特許権」。発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権

0056 ストラテジ系 / 法務 / 商標権

Q56 正解：D. 商標権

解説：正解は「商標権」。商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利

0057 ストラテジ系 / 法務 / 不正競争防止法

Q57 正解：D. 不正競争防止法

解説：正解は「不正競争防止法」。営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律

0058 ストラテジ系 / 法務 / 営業秘密

Q58 正解：C. 営業秘密

解説：正解は「営業秘密」。秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報

0059 ストラテジ系 / 法務 / ライセンス契約

Q59 正解：D. ライセンス契約

解説：正解は「ライセンス契約」。ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約

0060 ストラテジ系 / 法務 / OSS

Q60 正解：C. OSS

解説：正解は「OSS」。ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア

0061 ストラテジ系 / 法務 / 請負契約

Q61 正解：A. 請負契約

解説：正解は「請負契約」。仕事の完成を目的とし、完成物に対して報酬を支払う契約

0062 ストラテジ系 / 法務 / 準委任契約

Q62 正解：B. 準委任契約

解説：正解は「準委任契約」。一定の業務遂行を目的とし、完成物の完成までは約束しない契約

0063 ストラテジ系 / 法務 / 中小受託取引適正化法

Q63 正解：C. 中小受託取引適正化法

解説：正解は「中小受託取引適正化法」。委託事業者と中小受託事業者の取引を適正化し、受託側の利益保護を図る法律

0064 ストラテジ系 / 法務 / PL法

Q64 正解：A. PL法

解説：正解は「PL法」。製造物の欠陥によって生命・身体・財産に損害が生じた場合の製造業者等の責任を定める法律

0065 ストラテジ系 / 法務 / 電子署名

Q65 正解：A. 電子署名

解説：正解は「電子署名」。電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み

0066 ストラテジ系 / 法務 / コンプライアンス

Q66 正解：B. コンプライアンス

解説：正解は「コンプライアンス」。法令、社内規程、社会規範を守って活動すること

0067 ストラテジ系 / 法務 / 秘密保持契約

Q67 正解：C. 秘密保持契約

解説：正解は「秘密保持契約」。業務上知った秘密情報を第三者に漏らさないことを定める契約

0068 ストラテジ系 / 法務 / 個人情報保護法

Q68 正解：B. 生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律

解説：「個人情報保護法」は、生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律

0069 ストラテジ系 / 法務 / 著作権法

Q69 正解：B. 著作物を創作した者の権利を保護する法律

解説：「著作権法」は、著作物を創作した者の権利を保護する法律

0070 ストラテジ系 / 法務 / 特許権

Q70 正解：C. 発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権

解説：「特許権」は、発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権

0071 ストラテジ系 / 法務 / 商標権

Q71 正解：C. 商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利

解説：「商標権」は、商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利

0072 ストラテジ系 / 法務 / 不正競争防止法

Q72 正解：B. 営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律

解説：「不正競争防止法」は、営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律

0073 ストラテジ系 / 法務 / 営業秘密

Q73 正解：C. 秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報

解説：「営業秘密」は、秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報

0074 ストラテジ系 / 法務 / ライセンス契約

Q74 正解：B. ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約

解説：「ライセンス契約」は、ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約

0075 ストラテジ系 / 法務 / OSS

Q75 正解：D. ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア

解説：「OSS」は、ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア

0076 ストラテジ系 / 法務 / 請負契約

Q76 正解：B. 仕事の完成を目的とし、完成物に対して報酬を支払う契約

解説：「請負契約」は、仕事の完成を目的とし、完成物に対して報酬を支払う契約

0077 ストラテジ系 / 法務 / 準委任契約

Q77 正解：B. 一定の業務遂行を目的とし、完成物の完成までは約束しない契約

解説：「準委任契約」は、一定の業務遂行を目的とし、完成物の完成までは約束しない契約

0078 ストラテジ系 / 法務 / 中小受託取引適正化法

Q78 正解：D. 委託事業者と中小受託事業者の取引を適正化し、受託側の利益保護を図る法律

解説：「中小受託取引適正化法」は、委託事業者と中小受託事業者の取引を適正化し、受託側の利益保護を図る法律

0079 ストラテジ系 / 法務 / PL法

Q79 正解：B. 製造物の欠陥によって生命・身体・財産に損害が生じた場合の製造業者等の責任を定める法律

解説：「PL法」は、製造物の欠陥によって生命・身体・財産に損害が生じた場合の製造業者等の責任を定める法律

0080 ストラテジ系 / 法務 / 電子署名

Q80 正解：B. 電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み

解説：「電子署名」は、電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み

0081 ストラテジ系 / 法務 / コンプライアンス

Q81 正解：A. 法令、社内規程、社会規範を守って活動すること

解説：「コンプライアンス」は、法令、社内規程、社会規範を守って活動すること

0082 ストラテジ系 / 法務 / 秘密保持契約

Q82 正解：C. 業務上知った秘密情報を第三者に漏らさないことを定める契約

解説：「秘密保持契約」は、業務上知った秘密情報を第三者に漏らさないことを定める契約

0083 ストラテジ系 / 法務 / 個人情報保護法

Q83 正解：B. 個人情報保護法

解説：この状況は「個人情報保護法」に該当する。生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律

0084 ストラテジ系 / 法務 / 著作権法

Q84 正解：B. 著作権法

解説：この状況は「著作権法」に該当する。著作物を創作した者の権利を保護する法律

0085 ストラテジ系 / 法務 / 特許権

Q85 正解：C. 特許権

解説：この状況は「特許権」に該当する。発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権

0086 ストラテジ系 / 法務 / 商標権

Q86 正解：D. 商標権

解説：この状況は「商標権」に該当する。商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利

0087 ストラテジ系 / 法務 / 不正競争防止法

Q87 正解：A. 不正競争防止法

解説：この状況は「不正競争防止法」に該当する。営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律

0088 ストラテジ系 / 法務 / 営業秘密

Q88 正解 : C. 営業秘密

解説 : この状況は「営業秘密」に該当する。秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報

0089 ストラテジ系 / 法務 / ライセンス契約

Q89 正解 : D. ライセンス契約

解説 : この状況は「ライセンス契約」に該当する。ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約

0090 ストラテジ系 / 法務 / OSS

Q90 正解 : D. OSS

解説 : この状況は「OSS」に該当する。ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア

0091 ストラテジ系 / 法務 / 請負契約

Q91 正解 : A. 請負契約

解説 : この状況は「請負契約」に該当する。仕事の完成を目的とし、完成物に対して報酬を支払う契約

0092 ストラテジ系 / 法務 / 準委任契約

Q92 正解 : C. 準委任契約

解説 : この状況は「準委任契約」に該当する。一定の業務遂行を目的とし、完成物の完成までは約束しない契約

0093 ストラテジ系 / 法務 / 中小受託取引適正化法

Q93 正解 : D. 中小受託取引適正化法

解説 : この状況は「中小受託取引適正化法」に該当する。委託事業者と中小受託事業者の取引を適正化し、受託側の利益保護を図る法律

0094 ストラテジ系 / 法務 / PL法

Q94 正解 : A. PL法

解説 : この状況は「PL法」に該当する。製造物の欠陥によって生命・身体・財産に損害が生じた場合の製造業者等の責任を定める法律

0095 ストラテジ系 / 法務 / 電子署名

Q95 正解 : A. 電子署名

解説 : この状況は「電子署名」に該当する。電子文書の作成者と改ざんされていないことを確認するための仕組み

0096 ストラテジ系 / 法務 / コンプライアンス

Q96 正解 : A. コンプライアンス

解説 : この状況は「コンプライアンス」に該当する。法令、社内規程、社会規範を守って活動すること

0097 ストラテジ系 / 法務 / 秘密保持契約

Q97 正解 : A. 秘密保持契約

解説 : この状況は「秘密保持契約」に該当する。業務上知った秘密情報を第三者に漏らさないことを定める契約

0098 ストラテジ系 / 法務 / 個人情報保護法

Q98 正解：D. 個人情報保護法とは、生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律

解説：「個人情報保護法」は、生存する個人に関する情報の適正な取扱いを定めた法律

0099 ストラテジ系 / 法務 / 著作権法

Q99 正解：C. 著作権法とは、著作物を創作した者の権利を保護する法律

解説：「著作権法」は、著作物を創作した者の権利を保護する法律

0100 ストラテジ系 / 法務 / 特許権

Q100 正解：C. 特許権とは、発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権

解説：「特許権」は、発明を一定期間独占的に実施できる産業財産権

0101 ストラテジ系 / 法務 / 商標権

Q101 正解：A. 商標権とは、商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利

解説：「商標権」は、商品名やサービス名、ロゴなど営業上の標識を保護する権利

0102 ストラテジ系 / 法務 / 不正競争防止法

Q102 正解：B. 不正競争防止法とは、営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律

解説：「不正競争防止法」は、営業秘密の不正取得や混同表示など不正競争を防止する法律

0103 ストラテジ系 / 法務 / 営業秘密

Q103 正解：B. 営業秘密とは、秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報

解説：「営業秘密」は、秘密管理性、有用性、非公知性を満たす技術上又は営業上の情報

0104 ストラテジ系 / 法務 / ライセンス契約

Q104 正解：C. ライセンス契約とは、ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約

解説：「ライセンス契約」は、ソフトウェアや知的財産の利用条件を定める契約

0105 ストラテジ系 / 法務 / OSS

Q105 正解：B. OSSとは、ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア

解説：「OSS」は、ソースコードが公開され、ライセンス条件に従って利用できるソフトウェア

0106 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / マーケティング

Q106 正解：C. セグメンテーション

解説：セグメンテーションは市場を顧客属性やニーズなどで細分化すること。

0107 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SCM

Q107 正解：B. SCM

解説：SCMは調達から販売までの供給連鎖を最適化する管理手法。

0108 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 差別化戦略

Q108 正解：C. 差別化戦略

解説：正解は「差別化戦略」。競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略

0109 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / コストリーダーシップ戦略

Q109 正解 : A. コストリーダーシップ戦略

解説 : 正解は「コストリーダーシップ戦略」。低コスト体制により価格競争力を高める戦略

0110 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 集中戦略

Q110 正解 : C. 集中戦略

解説 : 正解は「集中戦略」。特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略

0111 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / CRM

Q111 正解 : A. CRM

解説 : 正解は「CRM」。顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法

0112 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SFA

Q112 正解 : D. SFA

解説 : 正解は「SFA」。営業活動を支援・効率化する情報システム

0113 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SCM

Q113 正解 : D. SCM

解説 : 正解は「SCM」。調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法

0114 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ERP

Q114 正解 : A. ERP

解説 : 正解は「ERP」。企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム

0115 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / マーケティングミックス

Q115 正解 : C. マーケティングミックス

解説 : 正解は「マーケティングミックス」。製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策

0116 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / セグメンテーション

Q116 正解 : D. セグメンテーション

解説 : 正解は「セグメンテーション」。市場を顧客属性やニーズなどで細分化すること

0117 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ターゲティング

Q117 正解 : B. ターゲティング

解説 : 正解は「ターゲティング」。細分化した市場の中から狙う顧客層を選ぶこと

0118 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ポジショニング

Q118 正解 : C. ポジショニング

解説 : 正解は「ポジショニング」。競合と比較して自社商品を顧客の頭の中にどう位置づけるかを設計すること

0119 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / M&A

Q119 正解 : C. M&A

解説 : 正解は「M&A」。企業の合併や買収によって事業拡大や経営資源獲得を行うこと

0120 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / アライアンス

Q120 正解 : B. アライアンス

解説 : 正解は「アライアンス」。複数企業が独立性を保ちながら協力関係を結ぶこと

0121 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / バリューチェーン

Q121 正解 : A. バリューチェーン

解説 : 正解は「バリューチェーン」。企業活動を価値を生む一連の活動として分析する考え方

0122 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ベンチマーキング

Q122 正解 : B. ベンチマーキング

解説 : 正解は「ベンチマーキング」。優れた他社や業界標準と比較して改善点を見つける手法

0123 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 差別化戦略

Q123 正解 : C. 競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略

解説 : 「差別化戦略」は、競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略

0124 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / コストリーダーシップ戦略

Q124 正解 : C. 低コスト体制により価格競争力を高める戦略

解説 : 「コストリーダーシップ戦略」は、低コスト体制により価格競争力を高める戦略

0125 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 集中戦略

Q125 正解 : B. 特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略

解説 : 「集中戦略」は、特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略

0126 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / CRM

Q126 正解 : B. 顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法

解説 : 「CRM」は、顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法

0127 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SFA

Q127 正解 : C. 営業活動を支援・効率化する情報システム

解説 : 「SFA」は、営業活動を支援・効率化する情報システム

0128 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SCM

Q128 正解 : C. 調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法

解説 : 「SCM」は、調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法

0129 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ERP

Q129 正解 : C. 企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム

解説 : 「ERP」は、企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム

0130 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / マーケティングミックス

Q130 正解 : C. 製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策

解説 : 「マーケティングミックス」は、製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策

0131 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / セグメンテーション

Q131 正解 : B. 市場を顧客属性やニーズなどで細分化すること

解説 : 「セグメンテーション」は、市場を顧客属性やニーズなどで細分化すること

0132 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ターゲティング

Q132 正解 : A. 細分化した市場の中から狙う顧客層を選ぶこと

解説 : 「ターゲティング」は、細分化した市場の中から狙う顧客層を選ぶこと

0133 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ポジショニング

Q133 正解 : C. 競合と比較して自社商品を顧客の頭の中にどう位置づけるかを設計すること

解説 : 「ポジショニング」は、競合と比較して自社商品を顧客の頭の中にどう位置づけるかを設計すること

0134 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / M&A

Q134 正解 : D. 企業の合併や買収によって事業拡大や経営資源獲得を行うこと

解説 : 「M&A」は、企業の合併や買収によって事業拡大や経営資源獲得を行うこと

0135 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / アライアンス

Q135 正解 : B. 複数企業が独立性を保ちながら協力関係を結ぶこと

解説 : 「アライアンス」は、複数企業が独立性を保ちながら協力関係を結ぶこと

0136 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / バリューチェーン

Q136 正解 : A. 企業活動を価値を生む一連の活動として分析する考え方

解説 : 「バリューチェーン」は、企業活動を価値を生む一連の活動として分析する考え方

0137 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ベンチマーキング

Q137 正解 : C. 優れた他社や業界標準と比較して改善点を見つける手法

解説 : 「ベンチマーキング」は、優れた他社や業界標準と比較して改善点を見つける手法

0138 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 差別化戦略

Q138 正解 : A. 差別化戦略

解説 : この状況は「差別化戦略」に該当する。競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略

0139 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / コストリーダシップ戦略

Q139 正解 : C. コストリーダシップ戦略

解説 : この状況は「コストリーダシップ戦略」に該当する。低コスト体制により価格競争力を高める戦略

0140 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 集中戦略

Q140 正解 : D. 集中戦略

解説 : この状況は「集中戦略」に該当する。特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略

0141 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / CRM

Q141 正解 : D. CRM

解説 : この状況は「CRM」に該当する。顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法

0142 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SFA

Q142 正解 : B. SFA

解説 : この状況は「SFA」に該当する。営業活動を支援・効率化する情報システム

0143 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SCM

Q143 正解 : A. SCM

解説 : この状況は「SCM」に該当する。調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法

0144 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ERP

Q144 正解 : C. ERP

解説 : この状況は「ERP」に該当する。企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム

0145 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / マーケティングミックス

Q145 正解 : A. マーケティングミックス

解説 : この状況は「マーケティングミックス」に該当する。製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策

0146 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / セグメンテーション

Q146 正解 : B. セグメンテーション

解説 : この状況は「セグメンテーション」に該当する。市場を顧客属性やニーズなどで細分化すること

0147 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ターゲティング

Q147 正解 : C. ターゲティング

解説 : この状況は「ターゲティング」に該当する。細分化した市場の中から狙う顧客層を選ぶこと

0148 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ポジショニング

Q148 正解 : C. ポジショニング

解説 : この状況は「ポジショニング」に該当する。競合と比較して自社商品を顧客の頭の中にどう位置づけるかを設計すること

0149 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / M&A

Q149 正解 : D. M&A

解説 : この状況は「M&A」に該当する。企業の合併や買収によって事業拡大や経営資源獲得を行うこと

0150 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / アライアンス

Q150 正解 : A. アライアンス

解説 : この状況は「アライアンス」に該当する。複数企業が独立性を保ちながら協力関係を結ぶこと

0151 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / バリューチェーン

Q151 正解 : D. バリューチェーン

解説 : この状況は「バリューチェーン」に該当する。企業活動を価値を生む一連の活動として分析する考え方

0152 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ベンチマーキング

Q152 正解 : C. ベンチマーキング

解説 : この状況は「ベンチマーキング」に該当する。優れた他社や業界標準と比較して改善点を見つける手法

0153 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 差別化戦略

Q153 正解：A. 差別化戦略とは、競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略

解説：「差別化戦略」は、競合と異なる価値を提供して優位性を得る戦略

0154 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / コストリーダーシップ戦略

Q154 正解：A. コストリーダーシップ戦略とは、低コスト体制により価格競争力を高める戦略

解説：「コストリーダーシップ戦略」は、低コスト体制により価格競争力を高める戦略

0155 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / 集中戦略

Q155 正解：B. 集中戦略とは、特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略

解説：「集中戦略」は、特定の市場や顧客層に経営資源を集中する戦略

0156 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / CRM

Q156 正解：C. CRMとは、顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法

解説：「CRM」は、顧客情報を活用して顧客満足や継続購入を高める経営手法

0157 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SFA

Q157 正解：D. SFAとは、営業活動を支援・効率化する情報システム

解説：「SFA」は、営業活動を支援・効率化する情報システム

0158 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / SCM

Q158 正解：A. SCMとは、調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法

解説：「SCM」は、調達から生産、物流、販売までの供給連鎖を最適化する管理手法

0159 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / ERP

Q159 正解：D. ERPとは、企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム

解説：「ERP」は、企業内の会計、人事、生産、販売などの基幹業務を統合管理するシステム

0160 ストラテジ系 / 経営戦略マネジメント / マーケティングミックス

Q160 正解：A. マーケティングミックスとは、製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策

解説：「マーケティングミックス」は、製品、価格、流通、プロモーションなどを組み合わせるマーケティング施策

0161 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / MOT

Q161 正解：C. MOT

解説：正解は「MOT」。技術を経営資源として活用し、事業価値につなげる管理手法

0162 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 技術ロードマップ

Q162 正解：C. 技術ロードマップ

解説：正解は「技術ロードマップ」。将来の市場や製品に必要な技術を時系列で整理した計画

0163 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / R&D

Q163 正解：C. R&D

解説：正解は「R&D」。新製品や新技術のために行う研究開発活動

0164 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / オープンイノベーション

Q164 正解：D. オープンイノベーション

解説：正解は「オープンイノベーション」。社外の技術や知識も活用して革新を生み出す考え方

0165 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / プロダクトイノベーション

Q165 正解：A. プロダクトイノベーション

解説：正解は「プロダクトイノベーション」。新しい製品やサービスを生み出す革新

0166 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / プロセスイノベーション

Q166 正解：A. プロセスイノベーション

解説：正解は「プロセスイノベーション」。製造方法や業務プロセスを革新して効率や品質を高めること

0167 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / PoC

Q167 正解：A. PoC

解説：正解は「PoC」。新しい技術やアイデアが実現可能か小規模に検証すること

0168 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 特許ポートフォリオ

Q168 正解：A. 特許ポートフォリオ

解説：正解は「特許ポートフォリオ」。保有特許を技術分野や事業価値ごとに整理し活用する考え方

0169 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / デファクトスタンダード

Q169 正解：A. デファクトスタンダード

解説：正解は「デファクトスタンダード」。市場競争の結果、事実上の標準となった規格や製品

0170 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 標準化

Q170 正解：B. 標準化

解説：正解は「標準化」。製品や業務の仕様を統一し、互換性や効率性を高めること

0171 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / MOT

Q171 正解：A. 技術を経営資源として活用し、事業価値につなげる管理手法

解説：「MOT」は、技術を経営資源として活用し、事業価値につなげる管理手法

0172 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 技術ロードマップ

Q172 正解：A. 将来の市場や製品に必要な技術を時系列で整理した計画

解説：「技術ロードマップ」は、将来の市場や製品に必要な技術を時系列で整理した計画

0173 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / R&D

Q173 正解：C. 新製品や新技術のために行う研究開発活動

解説：「R&D」は、新製品や新技術のために行う研究開発活動

0174 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / オープンイノベーション

Q174 正解：C. 社外の技術や知識も活用して革新を生み出す考え方

解説：「オープンイノベーション」は、社外の技術や知識も活用して革新を生み出す考え方

0175 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / プロダクトイノベーション

Q175 正解：A. 新しい製品やサービスを生み出す革新

解説：「プロダクトイノベーション」は、新しい製品やサービスを生み出す革新

0176 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / プロセスイノベーション

Q176 正解：C. 製造方法や業務プロセスを革新して効率や品質を高めること

解説：「プロセスイノベーション」は、製造方法や業務プロセスを革新して効率や品質を高めること

0177 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / PoC

Q177 正解：D. 新しい技術やアイデアが実現可能か小規模に検証すること

解説：「PoC」は、新しい技術やアイデアが実現可能か小規模に検証すること

0178 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 特許ポートフォリオ

Q178 正解：D. 保有特許を技術分野や事業価値ごとに整理し活用する考え方

解説：「特許ポートフォリオ」は、保有特許を技術分野や事業価値ごとに整理し活用する考え方

0179 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / デファクトスタンダード

Q179 正解：A. 市場競争の結果、事実上の標準となった規格や製品

解説：「デファクトスタンダード」は、市場競争の結果、事実上の標準となった規格や製品

0180 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 標準化

Q180 正解：C. 製品や業務の仕様を統一し、互換性や効率性を高めること

解説：「標準化」は、製品や業務の仕様を統一し、互換性や効率性を高めること

0181 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / MOT

Q181 正解：C. MOT

解説：この状況は「MOT」に該当する。技術を経営資源として活用し、事業価値につなげる管理手法

0182 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 技術ロードマップ

Q182 正解：B. 技術ロードマップ

解説：この状況は「技術ロードマップ」に該当する。将来の市場や製品に必要な技術を時系列で整理した計画

0183 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / R&D

Q183 正解：C. R&D

解説：この状況は「R&D」に該当する。新製品や新技術のために行う研究開発活動

0184 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / オープンイノベーション

Q184 正解：D. オープンイノベーション

解説：この状況は「オープンイノベーション」に該当する。社外の技術や知識も活用して革新を生み出す考え方

0185 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / プロダクトイノベーション

Q185 正解：D. プロダクトイノベーション

解説：この状況は「プロダクトイノベーション」に該当する。新しい製品やサービスを生み出す革新

0186 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / プロセスイノベーション

Q186 正解 : D. プロセスイノベーション

解説 : この状況は「プロセスイノベーション」に該当する。製造方法や業務プロセスを革新して効率や品質を高めること

0187 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / PoC

Q187 正解 : D. PoC

解説 : この状況は「PoC」に該当する。新しい技術やアイデアが実現可能か小規模に検証すること

0188 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 特許ポートフォリオ

Q188 正解 : C. 特許ポートフォリオ

解説 : この状況は「特許ポートフォリオ」に該当する。保有特許を技術分野や事業価値ごとに整理し活用する考え方

0189 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / デファクトスタンダード

Q189 正解 : B. デファクトスタンダード

解説 : この状況は「デファクトスタンダード」に該当する。市場競争の結果、事実上の標準となった規格や製品

0190 ストラテジ系 / 技術戦略マネジメント / 標準化

Q190 正解 : C. 標準化

解説 : この状況は「標準化」に該当する。製品や業務の仕様を統一し、互換性や効率性を高めること

0191 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / DX

Q191 正解 : C. DX

解説 : 正解は「DX」。デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること

0192 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / IoT

Q192 正解 : B. IoT

解説 : 正解は「IoT」。モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み

0193 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / AI

Q193 正解 : C. AI

解説 : 正解は「AI」。学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術

0194 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / 生成AI

Q194 正解 : B. 生成AI

解説 : 正解は「生成AI」。文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI

0195 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ビッグデータ

Q195 正解 : C. ビッグデータ

解説 : 正解は「ビッグデータ」。従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群

0196 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / データサイエンス

Q196 正解 : C. データサイエンス

解説 : 正解は「データサイエンス」。データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野

0197 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / フィンテック

Q197 正解 : D. フィンテック

解説 : 正解は「フィンテック」。金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み

0198 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / EC

Q198 正解 : D. EC

解説 : 正解は「EC」。インターネットを利用して商品やサービスを売買する電子商取引

0199 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ロングテール

Q199 正解 : D. ロングテール

解説 : 正解は「ロングテール」。販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方

0200 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / サブスクリプション

Q200 正解 : D. サブスクリプション

解説 : 正解は「サブスクリプション」。一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル

0201 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / シェアリングエコノミー

Q201 正解 : B. シェアリングエコノミー

解説 : 正解は「シェアリングエコノミー」。個人や企業が保有する資産を共有・活用する経済モデル

0202 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / クラウドファンディング

Q202 正解 : C. クラウドファンディング

解説 : 正解は「クラウドファンディング」。多数の人からインターネットを通じて資金を集める仕組み

0203 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / スマートファクトリー

Q203 正解 : B. スマートファクトリー

解説 : 正解は「スマートファクトリー」。IoTやAIで工場の生産性や品質を高める工場

0204 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / APIエコノミー

Q204 正解 : A. APIエコノミー

解説 : 正解は「APIエコノミー」。APIを通じて機能やデータを外部連携し価値を生む経済活動

0205 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / NFT

Q205 正解 : B. NFT

解説 : 正解は「NFT」。ブロックチェーン上で唯一性を示す非代替性トークン

0206 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / DX

Q206 正解 : C. デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること

解説 : 「DX」は、デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること

0207 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / IoT

Q207 正解 : A. モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み

解説 : 「IoT」は、モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み

0208 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / AI

Q208 正解 : D. 学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術

解説 : 「AI」は、学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術

0209 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / 生成AI

Q209 正解 : B. 文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI

解説 : 「生成AI」は、文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI

0210 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ビッグデータ

Q210 正解 : C. 従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群

解説 : 「ビッグデータ」は、従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群

0211 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / データサイエンス

Q211 正解 : C. データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野

解説 : 「データサイエンス」は、データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野

0212 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / フィンテック

Q212 正解 : C. 金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み

解説 : 「フィンテック」は、金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み

0213 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / EC

Q213 正解 : C. インターネットを利用して商品やサービスを売買する電子商取引

解説 : 「EC」は、インターネットを利用して商品やサービスを売買する電子商取引

0214 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ロングテール

Q214 正解 : C. 販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方

解説 : 「ロングテール」は、販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方

0215 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / サブスクリプション

Q215 正解 : A. 一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル

解説 : 「サブスクリプション」は、一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル

0216 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / シェアリングエコノミー

Q216 正解 : A. 個人や企業が保有する資産を共有・活用する経済モデル

解説 : 「シェアリングエコノミー」は、個人や企業が保有する資産を共有・活用する経済モデル

0217 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / クラウドファンディング

Q217 正解 : D. 多数の人からインターネットを通じて資金を集める仕組み

解説 : 「クラウドファンディング」は、多数の人からインターネットを通じて資金を集める仕組み

0218 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / スマートファクトリー

Q218 正解 : C. IoTやAIで工場の生産性や品質を高める工場

解説 : 「スマートファクトリー」は、IoTやAIで工場の生産性や品質を高める工場

0219 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / APIエコノミー

Q219 正解 : B. APIを通じて機能やデータを外部連携し価値を生む経済活動

解説 : 「APIエコノミー」は、APIを通じて機能やデータを外部連携し価値を生む経済活動

0220 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / NFT

Q220 正解 : C. ブロックチェーン上で唯一性を示す非代替性トークン

解説 : 「NFT」は、ブロックチェーン上で唯一性を示す非代替性トークン

0221 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / DX

Q221 正解 : B. DX

解説 : この状況は「DX」に該当する。デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること

0222 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / IoT

Q222 正解 : D. IoT

解説 : この状況は「IoT」に該当する。モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み

0223 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / AI

Q223 正解 : A. AI

解説 : この状況は「AI」に該当する。学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術

0224 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / 生成AI

Q224 正解 : C. 生成AI

解説 : この状況は「生成AI」に該当する。文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI

0225 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ビッグデータ

Q225 正解 : C. ビッグデータ

解説 : この状況は「ビッグデータ」に該当する。従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群

0226 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / データサイエンス

Q226 正解 : C. データサイエンス

解説 : この状況は「データサイエンス」に該当する。データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野

0227 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / フィンテック

Q227 正解 : D. フィンテック

解説 : この状況は「フィンテック」に該当する。金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み

0228 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / EC

Q228 正解 : C. EC

解説 : この状況は「EC」に該当する。インターネットを利用して商品やサービスを売買する電子商取引

0229 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ロングテール

Q229 正解 : D. ロングテール

解説 : この状況は「ロングテール」に該当する。販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方

0230 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / サブスクリプション

Q230 正解 : D. サブスクリプション

解説 : この状況は「サブスクリプション」に該当する。一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル

0231 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / シェアリングエコノミー

Q231 正解 : D. シェアリングエコノミー

解説 : この状況は「シェアリングエコノミー」に該当する。個人や企業が保有する資産を共有・活用する経済モデル

0232 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / クラウドファンディング

Q232 正解 : A. クラウドファンディング

解説 : この状況は「クラウドファンディング」に該当する。多数の人からインターネットを通じて資金を集める仕組み

0233 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / スマートファクトリー

Q233 正解 : B. スマートファクトリー

解説 : この状況は「スマートファクトリー」に該当する。IoTやAIで工場の生産性や品質を高める工場

0234 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / APIエコノミー

Q234 正解 : D. APIエコノミー

解説 : この状況は「APIエコノミー」に該当する。APIを通じて機能やデータを外部連携し価値を生む経済活動

0235 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / NFT

Q235 正解 : C. NFT

解説 : この状況は「NFT」に該当する。ブロックチェーン上で唯一性を示す非代替性トークン

0236 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / DX

Q236 正解 : A. DXとは、デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること

解説 : 「DX」は、デジタル技術を活用して業務、組織、ビジネスモデルを変革すること

0237 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / IoT

Q237 正解 : C. IoTとは、モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み

解説 : 「IoT」は、モノをインターネットに接続し、データ収集や制御を行う仕組み

0238 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / AI

Q238 正解 : C. AIとは、学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術

解説 : 「AI」は、学習や推論など知的な処理をコンピュータで実現する技術

0239 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / 生成AI

Q239 正解 : D. 生成AIとは、文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI

解説 : 「生成AI」は、文章、画像、音声、プログラムなど新しいコンテンツを生成するAI

0240 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ビッグデータ

Q240 正解 : A. ビッグデータとは、従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群

解説 : 「ビッグデータ」は、従来の方法では扱いにくい大量・多様・高速なデータ群

0241 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / データサイエンス

Q241 正解：A. データサイエンスとは、データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野

解説：「データサイエンス」は、データから知見を得て意思決定や課題解決に活用する分野

0242 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / フィンテック

Q242 正解：B. フィンテックとは、金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み

解説：「フィンテック」は、金融サービスとITを組み合わせた新しいサービスや仕組み

0243 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / EC

Q243 正解：D. ECとは、インターネットを利用して商品やサービスを売買する電子商取引

解説：「EC」は、インターネットを利用して商品やサービスを売買する電子商取引

0244 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / ロングテール

Q244 正解：B. ロングテールとは、販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方

解説：「ロングテール」は、販売数の少ない商品を多数扱うことで合計売上を得る考え方

0245 ストラテジ系 / ビジネスインダストリ / サブスクリプション

Q245 正解：C. サブスクリプションとは、一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル

解説：「サブスクリプション」は、一定期間の利用権に対して継続課金するビジネスモデル

0246 ストラテジ系 / システム戦略 / TCO

Q246 正解：B. TCO

解説：TCOは導入から運用・保守・廃棄までを含めた総保有コスト。

0247 ストラテジ系 / システム戦略 / 情報システム戦略

Q247 正解：C. 情報システム戦略

解説：正解は「情報システム戦略」。経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画

0248 ストラテジ系 / システム戦略 / EA

Q248 正解：B. EA

解説：正解は「EA」。業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方

0249 ストラテジ系 / システム戦略 / BPR

Q249 正解：D. BPR

解説：正解は「BPR」。既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること

0250 ストラテジ系 / システム戦略 / 業務プロセスモデリング

Q250 正解：C. 業務プロセスモデリング

解説：正解は「業務プロセスモデリング」。業務の流れ、役割、情報を図やモデルで表すこと

0251 ストラテジ系 / システム戦略 / RFI

Q251 正解：B. RFI

解説：正解は「RFI」。提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書

0252 ストラテジ系 / システム戦略 / RFP

Q252 正解 : B. RFP

解説 : 正解は「RFP」。システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書

0253 ストラテジ系 / システム戦略 / SLA

Q253 正解 : D. SLA

解説 : 正解は「SLA」。サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準

0254 ストラテジ系 / システム戦略 / ROI

Q254 正解 : B. ROI

解説 : 正解は「ROI」。投資額に対して得られる利益の割合を示す指標

0255 ストラテジ系 / システム戦略 / TCO

Q255 正解 : B. TCO

解説 : 正解は「TCO」。導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト

0256 ストラテジ系 / システム戦略 / 全体最適

Q256 正解 : B. 全体最適

解説 : 正解は「全体最適」。部分的な効率ではなく組織全体の効果が最大になるようにする考え方

0257 ストラテジ系 / システム戦略 / ITポートフォリオ

Q257 正解 : D. ITポートフォリオ

解説 : 正解は「ITポートフォリオ」。複数のIT投資やシステムをリスクと効果で分類・管理する考え方

0258 ストラテジ系 / システム戦略 / アウトソーシング

Q258 正解 : D. アウトソーシング

解説 : 正解は「アウトソーシング」。業務の一部又は全部を外部企業に委託すること

0259 ストラテジ系 / システム戦略 / システムライフサイクル

Q259 正解 : B. システムライフサイクル

解説 : 正解は「システムライフサイクル」。企画、開発、運用、保守、廃棄までの一連の流れ

0260 ストラテジ系 / システム戦略 / 要件定義

Q260 正解 : B. 要件定義

解説 : 正解は「要件定義」。システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程

0261 ストラテジ系 / システム戦略 / As-Is/To-Be

Q261 正解 : B. As-Is/To-Be

解説 : 正解は「As-Is/To-Be」。現状の姿とあるべき姿を比較して改善点を見つける考え方

0262 ストラテジ系 / システム戦略 / 情報システム戦略

Q262 正解 : A. 経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画

解説 : 「情報システム戦略」は、経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画

0263 ストラテジ系 / システム戦略 / EA

Q263 正解：D. 業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方

解説：「EA」は、業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方

0264 ストラテジ系 / システム戦略 / BPR

Q264 正解：A. 既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること

解説：「BPR」は、既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること

0265 ストラテジ系 / システム戦略 / 業務プロセスモデリング

Q265 正解：D. 業務の流れ、役割、情報を図やモデルで表すこと

解説：「業務プロセスモデリング」は、業務の流れ、役割、情報を図やモデルで表すこと

0266 ストラテジ系 / システム戦略 / RFI

Q266 正解：C. 提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書

解説：「RFI」は、提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書

0267 ストラテジ系 / システム戦略 / RFP

Q267 正解：B. システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書

解説：「RFP」は、システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書

0268 ストラテジ系 / システム戦略 / SLA

Q268 正解：A. サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準

解説：「SLA」は、サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準

0269 ストラテジ系 / システム戦略 / ROI

Q269 正解：A. 投資額に対して得られる利益の割合を示す指標

解説：「ROI」は、投資額に対して得られる利益の割合を示す指標

0270 ストラテジ系 / システム戦略 / TCO

Q270 正解：C. 導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト

解説：「TCO」は、導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト

0271 ストラテジ系 / システム戦略 / 全体最適

Q271 正解：C. 部分的な効率ではなく組織全体の効果が最大になるようにする考え方

解説：「全体最適」は、部分的な効率ではなく組織全体の効果が最大になるようにする考え方

0272 ストラテジ系 / システム戦略 / ITポートフォリオ

Q272 正解：B. 複数のIT投資やシステムをリスクと効果で分類・管理する考え方

解説：「ITポートフォリオ」は、複数のIT投資やシステムをリスクと効果で分類・管理する考え方

0273 ストラテジ系 / システム戦略 / アウトソーシング

Q273 正解：A. 業務の一部又は全部を外部企業に委託すること

解説：「アウトソーシング」は、業務の一部又は全部を外部企業に委託すること

0274 ストラテジ系 / システム戦略 / システムライフサイクル

Q274 正解：C. 企画、開発、運用、保守、廃棄までの一連の流れ

解説：「システムライフサイクル」は、企画、開発、運用、保守、廃棄までの一連の流れ

0275 ストラテジ系 / システム戦略 / 要件定義

Q275 正解：D. システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程

解説：「要件定義」は、システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程

0276 ストラテジ系 / システム戦略 / As-Is/To-Be

Q276 正解：C. 現状の姿とあるべき姿を比較して改善点を見つける考え方

解説：「As-Is/To-Be」は、現状の姿とあるべき姿を比較して改善点を見つける考え方

0277 ストラテジ系 / システム戦略 / 情報システム戦略

Q277 正解：A. 情報システム戦略

解説：この状況は「情報システム戦略」に該当する。経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画

0278 ストラテジ系 / システム戦略 / EA

Q278 正解：C. EA

解説：この状況は「EA」に該当する。業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方

0279 ストラテジ系 / システム戦略 / BPR

Q279 正解：C. BPR

解説：この状況は「BPR」に該当する。既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること

0280 ストラテジ系 / システム戦略 / 業務プロセスモデリング

Q280 正解：B. 業務プロセスモデリング

解説：この状況は「業務プロセスモデリング」に該当する。業務の流れ、役割、情報を図やモデルで表すこと

0281 ストラテジ系 / システム戦略 / RFI

Q281 正解：B. RFI

解説：この状況は「RFI」に該当する。提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書

0282 ストラテジ系 / システム戦略 / RFP

Q282 正解：B. RFP

解説：この状況は「RFP」に該当する。システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書

0283 ストラテジ系 / システム戦略 / SLA

Q283 正解：D. SLA

解説：この状況は「SLA」に該当する。サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準

0284 ストラテジ系 / システム戦略 / ROI

Q284 正解：D. ROI

解説：この状況は「ROI」に該当する。投資額に対して得られる利益の割合を示す指標

0285 ストラテジ系 / システム戦略 / TCO

Q285 正解 : A. TCO

解説 : この状況は「TCO」に該当する。導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト

0286 ストラテジ系 / システム戦略 / 全体最適

Q286 正解 : A. 全体最適

解説 : この状況は「全体最適」に該当する。部分的な効率ではなく組織全体の効果が最大になるようにする考え方

0287 ストラテジ系 / システム戦略 / ITポートフォリオ

Q287 正解 : C. ITポートフォリオ

解説 : この状況は「ITポートフォリオ」に該当する。複数のIT投資やシステムをリスクと効果で分類・管理する考え方

0288 ストラテジ系 / システム戦略 / アウトソーシング

Q288 正解 : B. アウトソーシング

解説 : この状況は「アウトソーシング」に該当する。業務の一部又は全部を外部企業に委託すること

0289 ストラテジ系 / システム戦略 / システムライフサイクル

Q289 正解 : D. システムライフサイクル

解説 : この状況は「システムライフサイクル」に該当する。企画、開発、運用、保守、廃棄までの一連の流れ

0290 ストラテジ系 / システム戦略 / 要件定義

Q290 正解 : D. 要件定義

解説 : この状況は「要件定義」に該当する。システムが満たすべき業務要件や機能要件を明確にする工程

0291 ストラテジ系 / システム戦略 / As-Is/To-Be

Q291 正解 : B. As-Is/To-Be

解説 : この状況は「As-Is/To-Be」に該当する。現状の姿とあるべき姿を比較して改善点を見つける考え方

0292 ストラテジ系 / システム戦略 / 情報システム戦略

Q292 正解 : B. 情報システム戦略とは、経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画

解説 : 「情報システム戦略」は、経営戦略を実現するための情報システムの方針や計画

0293 ストラテジ系 / システム戦略 / EA

Q293 正解 : C. EAとは、業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方

解説 : 「EA」は、業務、データ、アプリケーション、技術基盤を全体最適で設計する考え方

0294 ストラテジ系 / システム戦略 / BPR

Q294 正解 : B. BPRとは、既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること

解説 : 「BPR」は、既存業務を抜本的に見直し、業務プロセスを再設計すること

0295 ストラテジ系 / システム戦略 / 業務プロセスモデリング

Q295 正解 : C. 業務プロセスモデリングとは、業務の流れ、役割、情報を図やモデルで表すこと

解説 : 「業務プロセスモデリング」は、業務の流れ、役割、情報を図やモデルで表すこと

0296 ストラテジ系 / システム戦略 / RFI

Q296 正解：A. RFIとは、提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書

解説：「RFI」は、提案依頼前に、ベンダから製品情報や技術情報を収集する文書

0297 ストラテジ系 / システム戦略 / RFP

Q297 正解：C. RFPとは、システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書

解説：「RFP」は、システム調達時に要件や条件を示し、提案を依頼する文書

0298 ストラテジ系 / システム戦略 / SLA

Q298 正解：A. SLAとは、サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準

解説：「SLA」は、サービス提供者と利用者が合意するサービス品質水準

0299 ストラテジ系 / システム戦略 / ROI

Q299 正解：B. ROIとは、投資額に対して得られる利益の割合を示す指標

解説：「ROI」は、投資額に対して得られる利益の割合を示す指標

0300 ストラテジ系 / システム戦略 / TCO

Q300 正解：D. TCOとは、導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト

解説：「TCO」は、導入費用だけでなく運用・保守・廃棄まで含めた総保有コスト

0301 ストラテジ系 / システム企画 / 非機能要件

Q301 正解：B. 非機能要件

解説：性能、信頼性、バックアップなどは機能そのものではなく非機能要件に該当する。

0302 ストラテジ系 / システム企画 / システム化計画

Q302 正解：B. システム化計画

解説：正解は「システム化計画」。システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画

0303 ストラテジ系 / システム企画 / 業務要件

Q303 正解：A. 業務要件

解説：正解は「業務要件」。業務上実現したい内容や制約を表した要件

0304 ストラテジ系 / システム企画 / 機能要件

Q304 正解：A. 機能要件

解説：正解は「機能要件」。システムが提供すべき機能を表した要件

0305 ストラテジ系 / システム企画 / 非機能要件

Q305 正解：D. 非機能要件

解説：正解は「非機能要件」。性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件

0306 ストラテジ系 / システム企画 / 調達計画

Q306 正解：D. 調達計画

解説：正解は「調達計画」。外部からシステムやサービスを購入・委託するための計画

0307 ストラテジ系 / システム企画 / ベンダ選定

Q307 正解 : B. ベンダ選定

解説 : 正解は「ベンダ選定」。提案内容、価格、実績、保守体制などを比較して委託先を選ぶこと

0308 ストラテジ系 / システム企画 / 要件トレーサビリティ

Q308 正解 : D. 要件トレーサビリティ

解説 : 正解は「要件トレーサビリティ」。要件と設計・テスト・成果物の対応関係を追跡できること

0309 ストラテジ系 / システム企画 / フィージビリティスタディ

Q309 正解 : C. フィージビリティスタディ

解説 : 正解は「フィージビリティスタディ」。実現可能性を技術・費用・運用面から事前に調査すること

0310 ストラテジ系 / システム企画 / プロトタイピング

Q310 正解 : A. プロトタイピング

解説 : 正解は「プロトタイピング」。試作品を作って利用者の確認を得ながら要件を明確にする手法

0311 ストラテジ系 / システム企画 / パッケージ導入

Q311 正解 : B. パッケージ導入

解説 : 正解は「パッケージ導入」。既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること

0312 ストラテジ系 / システム企画 / Fit&Gap分析

Q312 正解 : A. Fit&Gap分析

解説 : 正解は「Fit&Gap分析」。パッケージの標準機能と業務要件の適合・差異を分析すること

0313 ストラテジ系 / システム企画 / 移行計画

Q313 正解 : D. 移行計画

解説 : 正解は「移行計画」。旧システムから新システムへデータや業務を移す手順を定める計画

0314 ストラテジ系 / システム企画 / 投資効果評価

Q314 正解 : D. 投資効果評価

解説 : 正解は「投資効果評価」。費用と効果を比較してシステム導入の妥当性を判断すること

0315 ストラテジ系 / システム企画 / ユーザビリティ

Q315 正解 : A. ユーザビリティ

解説 : 正解は「ユーザビリティ」。利用者にとっての使いやすさ

0316 ストラテジ系 / システム企画 / 受入テスト

Q316 正解 : D. 受入テスト

解説 : 正解は「受入テスト」。発注者側が要件どおりにシステムが完成しているか確認するテスト

0317 ストラテジ系 / システム企画 / システム化計画

Q317 正解 : C. システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画

解説 : 「システム化計画」は、システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画

0318 ストラテジ系 / システム企画 / 業務要件

Q318 正解：D. 業務上実現したい内容や制約を表した要件

解説：「業務要件」は、業務上実現したい内容や制約を表した要件

0319 ストラテジ系 / システム企画 / 機能要件

Q319 正解：C. システムが提供すべき機能を表した要件

解説：「機能要件」は、システムが提供すべき機能を表した要件

0320 ストラテジ系 / システム企画 / 非機能要件

Q320 正解：A. 性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件

解説：「非機能要件」は、性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件

0321 ストラテジ系 / システム企画 / 調達計画

Q321 正解：A. 外部からシステムやサービスを購入・委託するための計画

解説：「調達計画」は、外部からシステムやサービスを購入・委託するための計画

0322 ストラテジ系 / システム企画 / ベンダ選定

Q322 正解：D. 提案内容、価格、実績、保守体制などを比較して委託先を選ぶこと

解説：「ベンダ選定」は、提案内容、価格、実績、保守体制などを比較して委託先を選ぶこと

0323 ストラテジ系 / システム企画 / 要件トレーサビリティ

Q323 正解：D. 要件と設計・テスト・成果物の対応関係を追跡できること

解説：「要件トレーサビリティ」は、要件と設計・テスト・成果物の対応関係を追跡できること

0324 ストラテジ系 / システム企画 / フィージビリティスタディ

Q324 正解：D. 実現可能性を技術・費用・運用面から事前に調査すること

解説：「フィージビリティスタディ」は、実現可能性を技術・費用・運用面から事前に調査すること

0325 ストラテジ系 / システム企画 / プロトタイピング

Q325 正解：C. 試作品を作って利用者の確認を得ながら要件を明確にする手法

解説：「プロトタイピング」は、試作品を作って利用者の確認を得ながら要件を明確にする手法

0326 ストラテジ系 / システム企画 / パッケージ導入

Q326 正解：B. 既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること

解説：「パッケージ導入」は、既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること

0327 ストラテジ系 / システム企画 / Fit&Gap分析

Q327 正解：A. パッケージの標準機能と業務要件の適合・差異を分析すること

解説：「Fit&Gap分析」は、パッケージの標準機能と業務要件の適合・差異を分析すること

0328 ストラテジ系 / システム企画 / 移行計画

Q328 正解：A. 旧システムから新システムへデータや業務を移す手順を定める計画

解説：「移行計画」は、旧システムから新システムへデータや業務を移す手順を定める計画

0329 ストラテジ系 / システム企画 / 投資効果評価

Q329 正解：D. 費用と効果を比較してシステム導入の妥当性を判断すること

解説：「投資効果評価」は、費用と効果を比較してシステム導入の妥当性を判断すること

0330 ストラテジ系 / システム企画 / ユーザビリティ

Q330 正解：B. 利用者にとっての使いやすさ

解説：「ユーザビリティ」は、利用者にとっての使いやすさ

0331 ストラテジ系 / システム企画 / 受入テスト

Q331 正解：C. 発注者側が要件どおりにシステムが完成しているか確認するテスト

解説：「受入テスト」は、発注者側が要件どおりにシステムが完成しているか確認するテスト

0332 ストラテジ系 / システム企画 / システム化計画

Q332 正解：B. システム化計画

解説：この状況は「システム化計画」に該当する。システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画

0333 ストラテジ系 / システム企画 / 業務要件

Q333 正解：C. 業務要件

解説：この状況は「業務要件」に該当する。業務上実現したい内容や制約を表した要件

0334 ストラテジ系 / システム企画 / 機能要件

Q334 正解：D. 機能要件

解説：この状況は「機能要件」に該当する。システムが提供すべき機能を表した要件

0335 ストラテジ系 / システム企画 / 非機能要件

Q335 正解：B. 非機能要件

解説：この状況は「非機能要件」に該当する。性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件

0336 ストラテジ系 / システム企画 / 調達計画

Q336 正解：B. 調達計画

解説：この状況は「調達計画」に該当する。外部からシステムやサービスを購入・委託するための計画

0337 ストラテジ系 / システム企画 / ベンダ選定

Q337 正解：C. ベンダ選定

解説：この状況は「ベンダ選定」に該当する。提案内容、価格、実績、保守体制などを比較して委託先を選ぶこと

0338 ストラテジ系 / システム企画 / 要件トレーサビリティ

Q338 正解：D. 要件トレーサビリティ

解説：この状況は「要件トレーサビリティ」に該当する。要件と設計・テスト・成果物の対応関係を追跡できること

0339 ストラテジ系 / システム企画 / フィージビリティスタディ

Q339 正解：A. フィージビリティスタディ

解説：この状況は「フィージビリティスタディ」に該当する。実現可能性を技術・費用・運用面から事前に調査すること

0340 ストラテジ系 / システム企画 / プロトタイピング

Q340 正解 : B. プロトタイピング

解説 : この状況は「プロトタイピング」に該当する。試作品を作って利用者の確認を得ながら要件を明確にする手法

0341 ストラテジ系 / システム企画 / パッケージ導入

Q341 正解 : A. パッケージ導入

解説 : この状況は「パッケージ導入」に該当する。既製ソフトウェアを利用して業務システムを構築すること

0342 ストラテジ系 / システム企画 / Fit&Gap分析

Q342 正解 : B. Fit&Gap分析

解説 : この状況は「Fit&Gap分析」に該当する。パッケージの標準機能と業務要件の適合・差異を分析すること

0343 ストラテジ系 / システム企画 / 移行計画

Q343 正解 : A. 移行計画

解説 : この状況は「移行計画」に該当する。旧システムから新システムへデータや業務を移す手順を定める計画

0344 ストラテジ系 / システム企画 / 投資効果評価

Q344 正解 : D. 投資効果評価

解説 : この状況は「投資効果評価」に該当する。費用と効果を比較してシステム導入の妥当性を判断すること

0345 ストラテジ系 / システム企画 / ユーザビリティ

Q345 正解 : B. ユーザビリティ

解説 : この状況は「ユーザビリティ」に該当する。利用者にとっての使いやすさ

0346 ストラテジ系 / システム企画 / 受入テスト

Q346 正解 : A. 受入テスト

解説 : この状況は「受入テスト」に該当する。発注者側が要件どおりにシステムが完成しているか確認するテスト

0347 ストラテジ系 / システム企画 / システム化計画

Q347 正解 : D. システム化計画とは、システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画

解説 : 「システム化計画」は、システム導入の目的、範囲、効果、スケジュールなどをまとめる計画

0348 ストラテジ系 / システム企画 / 業務要件

Q348 正解 : D. 業務要件とは、業務上実現したい内容や制約を表した要件

解説 : 「業務要件」は、業務上実現したい内容や制約を表した要件

0349 ストラテジ系 / システム企画 / 機能要件

Q349 正解 : A. 機能要件とは、システムが提供すべき機能を表した要件

解説 : 「機能要件」は、システムが提供すべき機能を表した要件

0350 ストラテジ系 / システム企画 / 非機能要件

Q350 正解 : D. 非機能要件とは、性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件

解説 : 「非機能要件」は、性能、信頼性、拡張性、セキュリティなど機能以外の要件